

**令和5年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業
マネジメント研修**

日時 令和5年6月16日(金)
13:30~16:30

会場 愛媛県総合社会福祉会館
3階「研修室」
※オンライン同時開催

愛 媛 県 ・ 愛媛県社会福祉協議会

目 次

開催要項	1
開 会・オリエンテーション	3
事業説明「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業」	4
講 義「安心して働き続けることができる 職場を作るためのノーリフティングケア」	12
事例報告「ノーリフティングケア導入による効果等について」	49
介護老人保健施設 ふなき久和園	50
特別養護老人ホーム みどりの郷	62
ま と め「今後の普及を図るために」	74
令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業所 推進事業所募集要領等 (※愛媛県社会福祉協議会のホームページからダウンロード可)	84
参考資料 令和元年～4年推進事業所修了事業所一覧	93
参加者名簿	94

令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

マネジメント研修 開催要項

テーマ ～ノーリフティングケアの導入～

1 目 的

介護人材不足が深刻化する中、介護事業者には介護従事者が長期にわたり、健康かつ安全に働くことができる環境を整備することが強く求められており、そのためには、腰痛予防に効果的なノーリフティングケア等の導入が必要となってきます。

また、ノーリフティングケアは、介護者だけでなく利用者の身体的・精神的負担の軽減にもつながり、質の高いサービス提供のために適切な導入が推奨されています。

そのような中、本研修会ではノーリフティングケアの効果や導入事例等、それぞれの事業所における労働衛生管理体制の確立等を図ることで、介護人材の安定的な確保や福祉サービスの質の向上を実現することを目的に開催します。

2 主 催

愛媛県 ・ 愛媛県社会福祉協議会

3 開催日時

令和5年6月16日（金） 13:30～16:30

4 内 容

13:00～13:30 受 付

13:30～13:35 開 会

13:35～13:50 事業説明「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業」

愛媛県保健福祉部 生きがい推進局 長寿介護課

13:50～15:20 講 義「安心して働き続けることができる

職場を作るためのノーリフティングケア」

びわこりハビリテーション専門職大学

教授・労働衛生コンサルタント 埜田 和史 氏

15:20～15:30 休 憩

15:30～16:20 事例報告「ノーリフティングケア導入による効果等について」

介護老人保健施設 ふなき久和園

特別養護老人ホーム みどりの郷

16:20～16:30 ま と め「今後の普及を図るために」

16:30 閉 会

5 参加対象

ノーリフティングケアに興味がある方

※どなたでもご参加いただけます。

6 参加方法

(1) 会場で参加

【愛媛県総合社会福祉会館 3階「研修室」〔松山市持田町三丁目8番15号〕】

(2) オンラインで参加（Zoom ミーティング）

7 定 員

- (1) 会場参加: 50名
- (2) オンライン参加: 80名

※定員超過の場合は、申し込みをお断りする場合があります。

8 参 加 費

無料

9 申込締切

令和5年6月7日(水)

10 申込方法

別添参加申込書に必要事項を記入の上、事務局へ郵送又はFAXでお申し込みください。

11 連絡事項

会場で参加される方へ

- (1) 会場の駐車場には限りがありますので、できるかぎり公共の交通機関を利用してお越しください。会場の駐車場が満車の場合は、各自でお近くの有料駐車場をご利用ください。
- (2) 新型コロナウイルス感染対策の為、以下の点にご留意ください。
 - ①研修当日の朝は、検温と体調確認を行った上でご参加ください。発熱等体調不良の場合は、参加をご遠慮ください。
 - ②研修中は、不織布マスクを正しく着用ください。
 - ③休憩中は、手洗い・うがい、消毒用アルコール液による消毒等、ご自身で衛生管理をお願いします。(消毒液は本会で用意します。)
 - ④換気のため、窓や扉を開放することがあります。室温の変化に各自で対応できるよう、ご準備ください。

オンラインで参加される方へ

- (1) オンラインで参加される場合は、申込時にご記入いただいたEメールアドレスに、開催の3日前を目安に参加者用招待メールと資料データをメールでお送りします。メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。
- (2) 当日は、招待メール又はミーティングID・PASSを利用して、開会(13時30分)までにZoomミーティングにログインしてください。
- (3) 個別の機器及び通信環境等に起因する問い合わせや当日のトラブル等には、本会では対応しかねますので、あらかじめご了承ください。

12 問い合わせ・申し込み先

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課 (担当/菅野、森田、下岡)

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号

TEL 089-921-5140 FAX 089-921-3398 E-mail chouju@ehime-shakyo.or.jp

13:30~13:35

開会・オリエンテーション

13:35~13:50

事業説明「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業」

愛媛県保健福祉部 生きがい推進局 長寿介護課



愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業



愛媛県イメージアップキャラクター

愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課

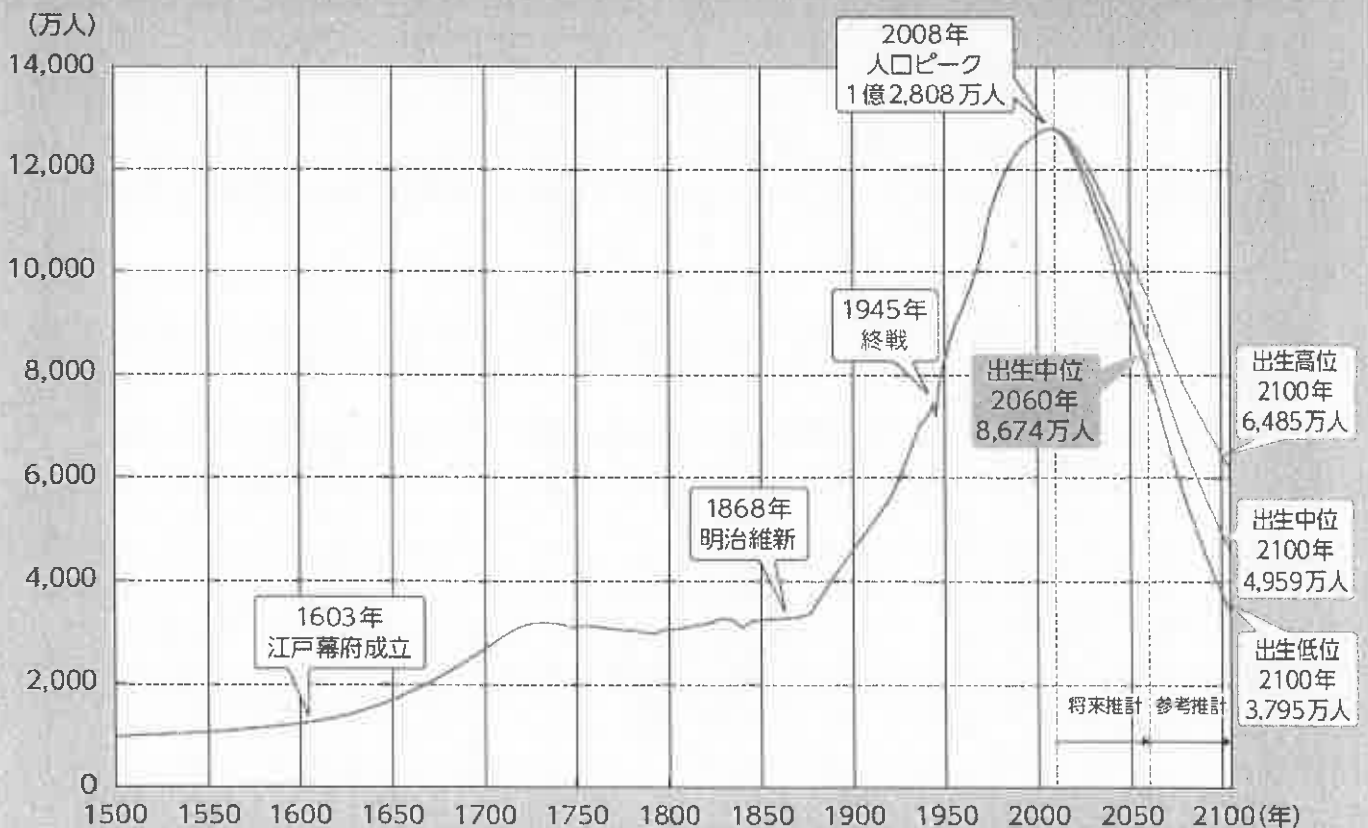


みきゃん

こみきゃん

ダークみきゃん

日本の人口推計 (急激な人口減少)



【出典】平成27年版 厚生労働白書

愛媛県の将来推計人口（2）

3

- 2060年までに
生産年齢人口は5割減少、後期高齢者は1.4%増加
- 全国と比較して、愛媛県の高齢化は20年早い

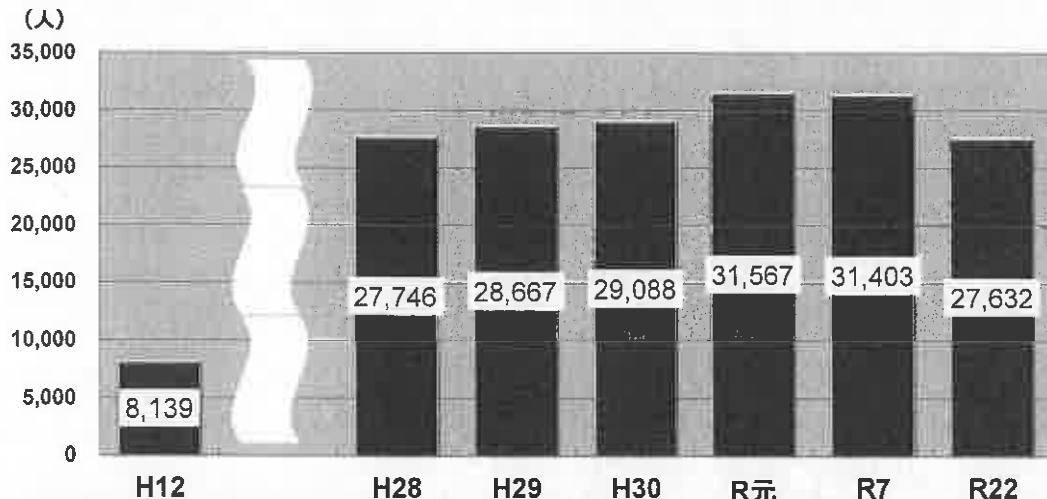
	2020年	2040年	2060年	減少率 2020→2060
65歳以上	44.3万人	42.0万人	34.6万人	△22.0%
（うち75歳以上）	23.1万人	25.2万人	23.4万人	1.4%
15～64歳	73.7万人	54.3万人	37.4万人	△49.3%
0～14歳	15.4万人	9.6万人	6.4万人	△58.5%
計	133.5万人	105.9万人	78.4万人	△41.3%
高齢化率	33.2%	39.7%	44.1%	
全国高齢化率	28.6%	34.8%	37.9%	

資料：2020年国勢調査等に基づく将来推計人口について（愛媛県）
えひめ人口減少対策重点戦略
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

介護職員数の推移（愛媛県）

4

- 令和7年には介護職員が約1,000人不足すると見込まれている。



	R元年	R7年	R22年
必要見込人数	-	32,533人	38,373人
供給見込人数	31,567人	31,403人	27,632人
差引不足人数	-	1,130人	10,741人

資料：2015（平成27）年以前 ⇨ 国勢調査
2020（令和2）年以降 ⇨ 国立社会保障・人口問題研究所（2019（平成31）年4月推計）

介護人材不足

- 団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年には、愛媛県で約1,000人不足(推計)
- 団塊ジュニア世代が高齢者(65歳以上)となる令和22年には、愛媛県で約1万人不足(推計)

介護現場における課題

- 愛媛県の高齢者施設(入所系)で働く介護従事者の悩み、不安等の第3位は「身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)」46.2%
参考:第1位 人手不足(70.8%)、第2位 仕事内容のわりに賃金が低い(49.4%)
出典:「令和3年度介護労働実態調査」(公財)介護労働安定センター
- 介護福祉士が働いていた職場を辞めた理由(複数回答)第2位は「心身の健康状態の不調」(33.0%)
- 介護福祉士が今後仕事で重視すること(複数回答)第1位は「心身の健康状態の維持」(71.5%)
出典:「令和2年度社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の就労状況調査」(公財)社会福祉振興・試験センター

介護現場における腰痛問題は、離職の要因ともなり得る深刻な課題!

腰痛を引き起こす職場環境改善による離職防止や人材確保に向けて、利用者への二次障害防止の観点も踏まえた「ノーリフティングケア(抱え上げない介護)」を県内に推進していくことが必要

ノーリフティングケアとは

適切な介護ロボットや福祉用具等の活用と
身体の機能・構造に即した介護技術を実践し、
介護する側・される側、双方に優しい、
抱えあげない介護である
「ノーリフティングケア」の普及に取り組みます。



R元～3年度 モデル事業所を育成(18箇所)

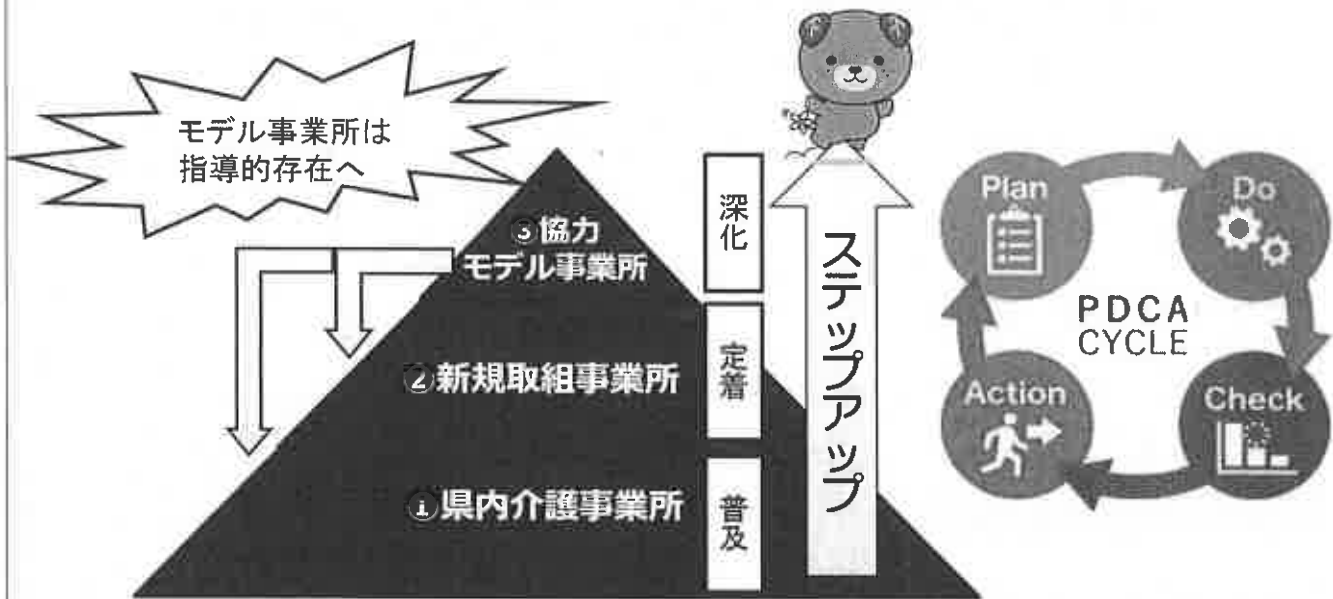


- * 8割を超える介護職員の身体的負担が軽減
(大きな力を出さなくても介助ができるようになった、腰痛や肩こりが起こりにくくなった)
- * ケアに関わる職員数の減少(2名介助→1名介助)
- * 介護の質向上
- * 利用者の生活の質向上(拘縮減少、食事量増加)
- * 高齢になっても仕事を続けていけると思えるようになった。

～モデル事業所からの報告抜粋～

R4年度～ 県下全域へ横展開

- ①理念の普及や実践発表などの**マネジメント研修** → 本日の研修
- ②新規取組事業所の**育成研修** → 「事業所への講師派遣」や「協力モデル事業所での実地研修」
- ③協力モデル事業所の**フォローアップ研修** → 「意見交換」や「講師派遣による振返りと指導実践」



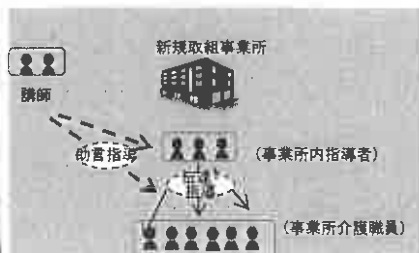
新規取組事業所を12箇所募集します



この事業を活用して、「職場環境改善」、「離職防止」、「人材確保」につながるレベルアップを目指しましょう

ポイント 1

事業所への講師派遣



ポイント 2

協力モデル事業所での実地研修

協力モデル事業所 (指導者)



ポイント 3

ポスター配付・県HPに掲載

ノーリフティングケア宣言1



見やすい場所に提示して、人材確保や利用者へのPRにご活用ください。

令和5年7月14日(金)までに県社協にお申し込みください。

【目的】

介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境を整備する県内の介護サービス事業者に対し、経費の一部を助成することにより、介護ロボットの使用による介護従事者の負担の軽減と働きやすい職場環境の整備を図る。

【事業概要】 ※詳細は県HPに掲載

- 補助率 1/2 (一定の条件を満たせば3/4)
- 補助上限額
 - ア 介護ロボット 機器1台につき 移乗介護及び入浴支援 100万円、その他 30万円
 - イ 見守り機器の導入に伴う通信環境整備 1事業所につき750万円
- 補助対象機器
 - ア 介護ロボット 次の要件を全て満たすこと

【目的要件】

①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボット

【技術的要件】 次のいずれかの要件を満たすこと

・ロボット技術(*)を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する介護ロボット
 ※①センサー等により外界や自己の状況を認識し
 ②これによって得られた情報を解析し
 ③その結果に応じた動作を行う介護ロボット
 ・経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」(平成25年度～平成29年度)、「ロボット介護機器開発・標準化事業」(平成30年度～令和2年度)、「ロボット介護機器開発等推進事業(開発補助)」(令和3年度～)において採択された介護ロボット(「重点分野6分野13項目の対象機器・システムの開発」に限る。)

【市場的要件】

販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあること。

イ 見守り機器の導入に伴う通信環境整備 次のいずれか

【Wi-Fi環境整備】

配線工事、モデム・ルーター、アクセスポイント、システム管理サーバー、ネットワーク構築など

【インカム】

職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのもの

【介護ロボット機器を用いて得られる情報の介護記録へのシステム連動】

介護ロボット機器を用いて得られる情報とシステム連動可能な介護記録ソフトウェア、バイタル測定が可能なウェアラブル端末、介護ロボットを用いて得られる情報とソフトウェア間を接続するためのゲートウェイ装置等

介護ロボット 導入効果①

見守り・コミュニケーション

- 端末から居室の状況が分かり、訪室の必要性が確認できるため、**効率よく巡回ができ、訪室回数が減少した。**
- 睡眠、覚醒、起床、離床を端末で把握・記録するため、**本人の状態にあった介護ができる他、業務が効率化し、身体的・精神的負担が軽減した。**
- 特に職員が少ない夜間帯での負担軽減効果が高く、利用者の安眠にもつながっている。

移乗介護

- 職員の腰痛をはじめとする**身体的負担が軽減した。**
- 移乗介助に係る人数が減少(2名→1名等)した。**
- リフトを使用することで、新人職員とベテラン職員の差が無くなり、**ケアの平準化が図られ、利用者の安心感や満足感につながった。**
- 力の弱い職員もできる介助が増え、シフト調整が容易になった。

移動・排泄・入浴支援・介護業務支援

- 転倒が減少し、**利用者のADL向上**につながった。
- 尿の溜まり具合が把握できるため、**画一的なケアから個別ケアが可能**になった。
- おむつ交換の空振りがなくなり、**業務時間短縮や、ケアの質が向上**した。
- リフトを使うことで入浴介助を**安心・安全**に行うことができ、**利用者・職員ともに身体的・精神的負担が軽減**した。
- バイタル情報、食事量、申送り事項等、**記録業務の時間が減少**した。
- 利用者・家族への説明の際、**データ化されて見やすい**と好評。

こういった効果を得るためにも、
職員が知識・操作の面で、
安全に、安心して使えるよう
介護ロボットを正しく理解することが必要

愛媛県介護ロボット導入支援事業における報告書より抜粋

ユニコム

ユニコムに、介護ロボットを体験できる常設展示場が昨年7月にOPEN。
介護ロボットの効果的な導入・活用にご利用ください。

相談窓口や試用貸出もあるので、是非ご利用ください。

各種相談への対応



介護現場・開発企業双方から、介護ロボットに係る相談受け付け等を行う。業務アドバイザー職員を配置。

介護ロボットの試用貸出



介護ロボットを試しに使用してみたいという介護現場から、介護ロボットの試用貸出依頼を受け付け、試用貸出企業へ取り次ぎを行う。

体験展示



現場での活用をイメージできる場として、介護ロボットに触れ、体験することができる展示場。

県介護実習・普及センター 福祉用具・住宅改造展示場

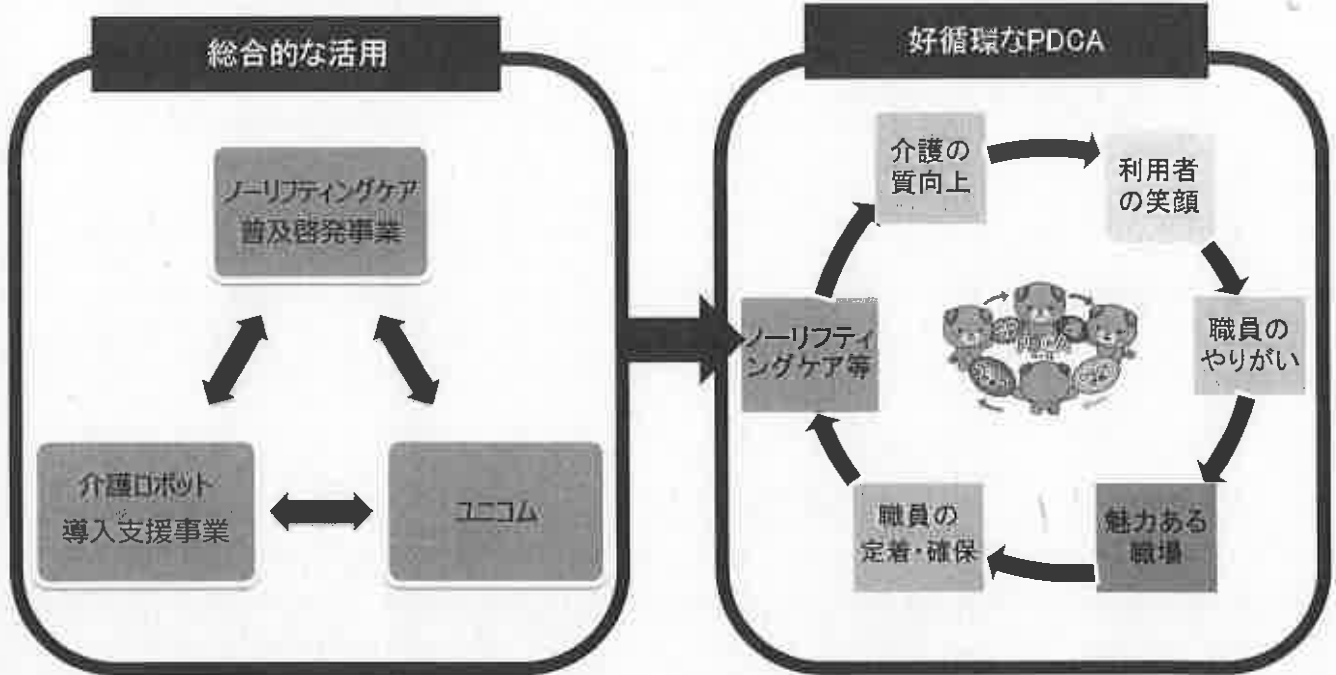
愛称：ユニコム
～いつもの暮らしをこれからも～

介護用ベッドや車いす等の福祉用具、介護用衣料品や住宅改造モデルを展示しています。



〒790-8553
松山市持田町3丁目8番15号
TEL089-921-8348

ノーリフティングケアを推進するため、「ユニコム」や「介護ロボット導入支援事業」を総合的に活用し、効果的な人材確保に繋がってください。



御清聴ありがとうございました。

13:50~15:20

講義「安心して働き続けることができる職場を作るためのノーリフティングケア」

びわこリハビリテーション専門職大学

教授・労働衛生コンサルタント 埜田 和史 氏

安心して働き続けることができる職場を作るための ノーリフティングケア

びわこリハビリテーション専門職大学教授
日本ノーリフト協会特別顧問
労働衛生コンサルタント
埴田和史

ノーリフトケアがめざしているのは

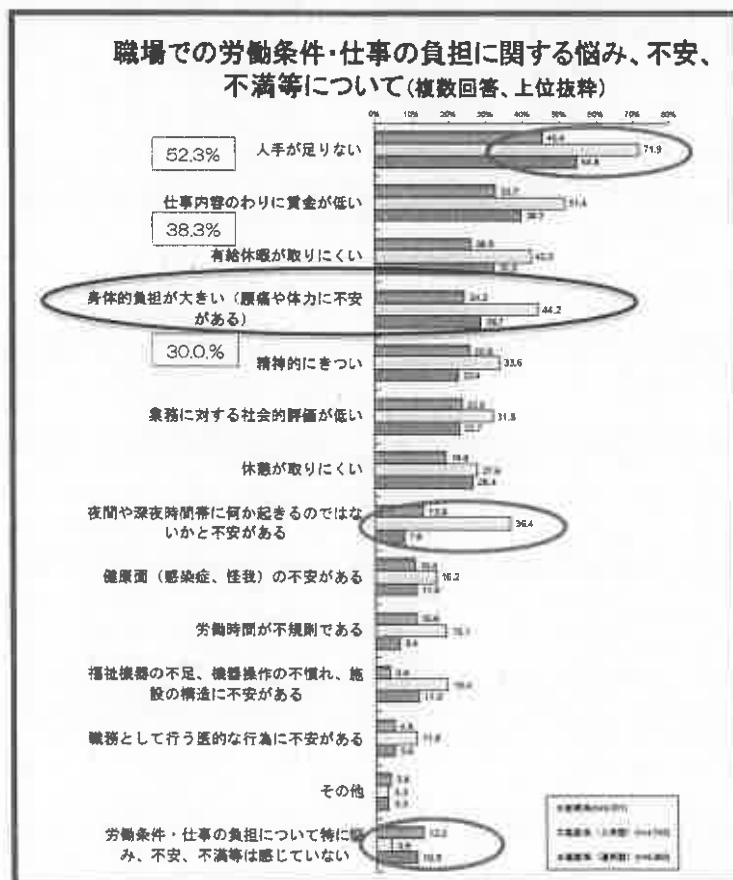
介護や看護に従事する人たちが、安全や健康上の不安なく働くことができ、介護や看護を受ける人たちが安全に快適に生活できる福祉
・医療現場

ノーリフトケアを、単なる介護・看護技術に止めていては、ノーリフトケアの目標は達成できない。

医療・福祉職場の安全衛生に関わる問題

- 1 腰痛・・・抱き抱え、前屈みなど不良姿勢
- 2 肩こり・・・支える、手を引く、引き寄せる
頸肩腕障害（けいけんわんしょうがい）
- 3 ケガ・・・転ぶ、つまずく、滑る、ぶつかる
- 4 心身の疲労・・・ゆっくり休めない、ストレス
（メンタルヘルス） 不眠症、うつ症、適応障害、...
- 5 コロナ感染・・・心身を危険にさらす

仕事の負担に関する悩み（介護労働者）



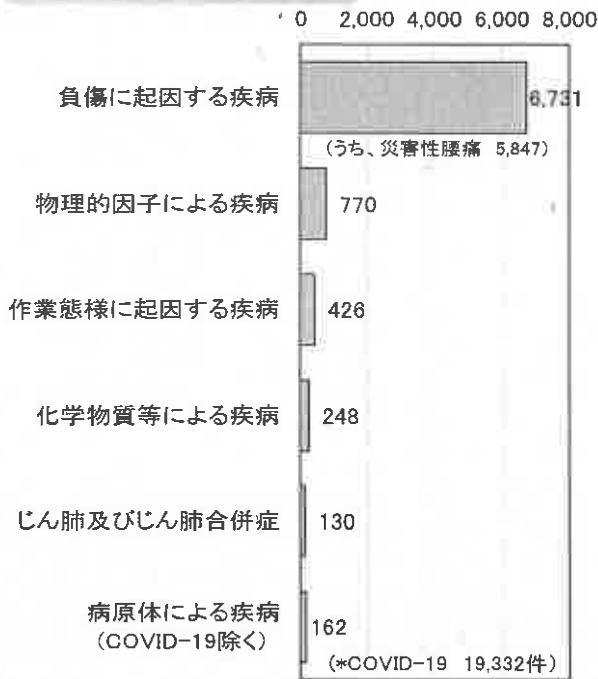
業務上疾病(休業4日以上)の分類および業種別腰痛発生状況(2021年)

合計28,071件(コロナ労災 19,332件を含む)

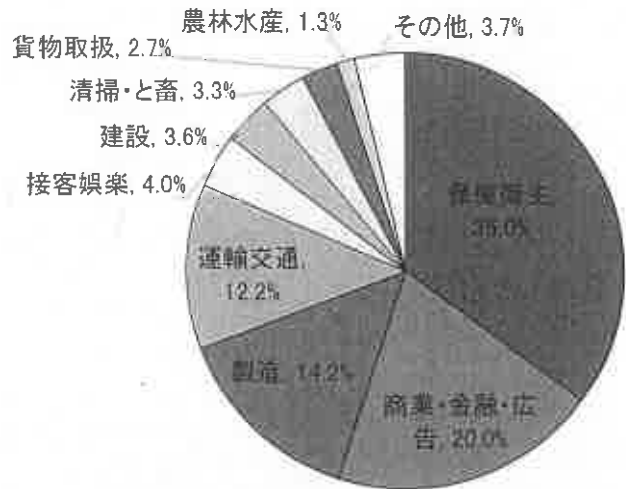
2020年は、合計15,038件(コロナ労災 6,041件)

負傷に起因する疾病6,731件のうち腰痛は5,847件、腰痛はコロナ労災を除く業務上疾病件数の67%

(a) 業務上疾病の分類 (件)



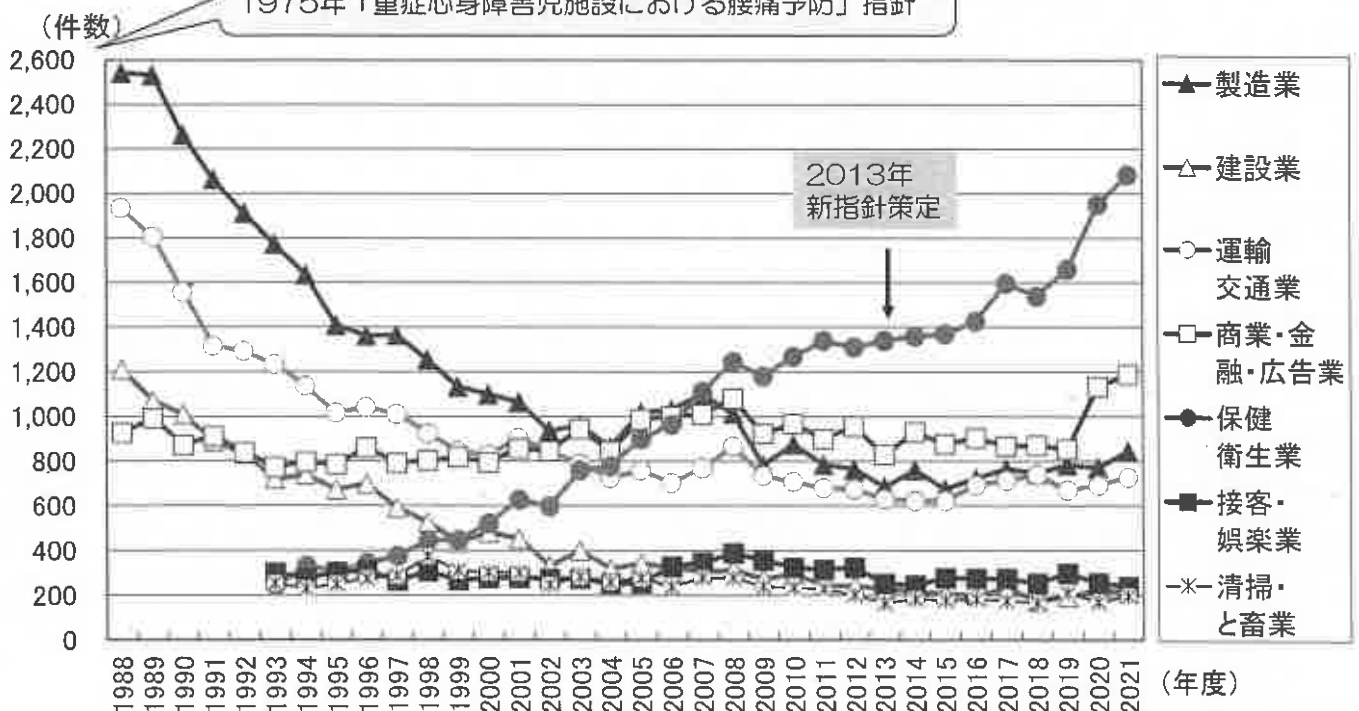
(b) 業種別腰痛発生割合



※厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」より

主要業種別の業務上腰痛件数(休業4日以上)

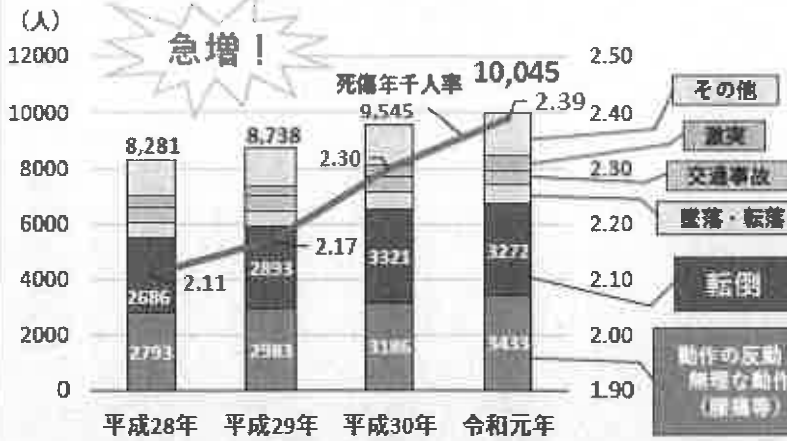
1970年「重量物取扱作業による腰痛予防」指針
1975年「重症心身障害児施設における腰痛予防」指針



※厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」より作成

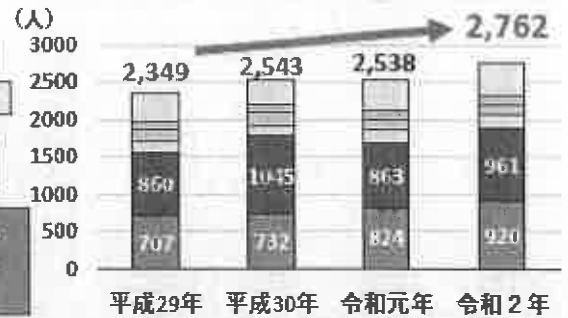
福祉・介護職場における安全衛生の課題

過去4年間の死傷災害者数（休業4日以上）
及び死傷年千人率の推移



- ・令和元年の死傷者数は、**前年比5.2%増加**
- ・令和2年5月の死傷者数は、**前年同期比8.8%増加**

<過去4年間の5月時点での死傷災害者数の推移>



災害の原因は「転倒」「動作の反動・無理な動作（腰痛等）」が半数以上！
その他は「墜落・転落」、「交通事故（道路）」、「激突」等も

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

社会福祉・介護事業における労働災害の発生状況

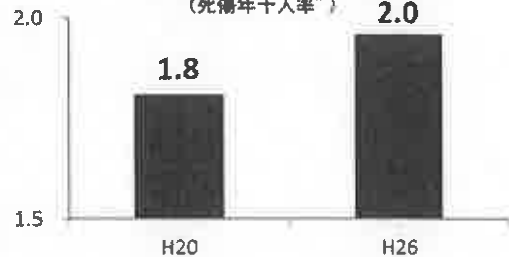
ポイント

社会福祉・介護事業では雇用者も増加しているが、災害発生率も増加している。（表1）

社会福祉・介護事業における労働災害は、50歳以上の被災者が半数以上を占め、高齢の被災者が多い。（表2）

経験年数3年未満の被災者が4割以上を占める。（表3）

表1 「社会福祉施設」における災害発生率（死傷年千人率*）



* 労働者1,000人あたり1年間に発生する死傷者数を示す。

表2 年齢別 災害発生状況 表3 経験期間別 災害発生状況
(平成27年上半年期・「社会福祉施設」) (平成27年上半年期・「社会福祉施設」)



災害事例 (出典：労働者死傷病報告・死亡災害報告より)	
動作の反動・無理な動作	入浴介助中に、利用者の体を浴槽から引き上げる際、腰に負担がかかり、激痛で動けなくなった。
転倒	訪問介護のサービスのため、利用者宅の台所で朝食の準備をしていた時、足を滑らせ後ろに転倒し頭部を打った。4日後に死亡した。
墜落・転落	街灯に取り付けられた提灯を三脚を使って撤去していたところ、バランスを崩し、三脚ごと約3m下の地面に転落し、死亡した。

出典：労働者死傷病報告の休業4日以上死傷者数より

事業者（施設管理者）は、なぜ、職場の安全衛生に取り組む必要があるのか

職場の安全衛生に取り組む




職員が安全で快適に働ける職場を作る

- 1 法律上の義務
- 2 職員の確保＝事業運営の基盤
- 3 利用者の安全や快適な生活の保障

労働安全衛生法 (1972年施行)

(目的)

第1条 この法律は、労働基準法（昭和22年法律第49号）と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。



介護者を苦しめる腰痛の話

腰痛の発生要因

- ①作業（動作）要因
- 2)環境の要因
- ③疲労回復阻害の要因
- 4)個人的要因
- 5)心理社会的要因(ストレス)

腰痛の発生要因（作業・動作要因）

(1) 強度の身体的負荷

介護では、抱きかかえ、支える、引っ張ることで

(2) 長時間の静的作業姿勢（姿勢拘束）

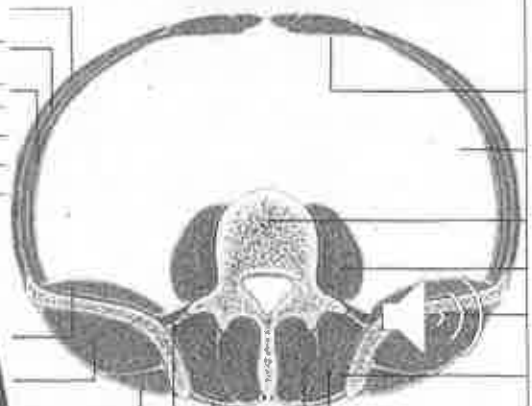
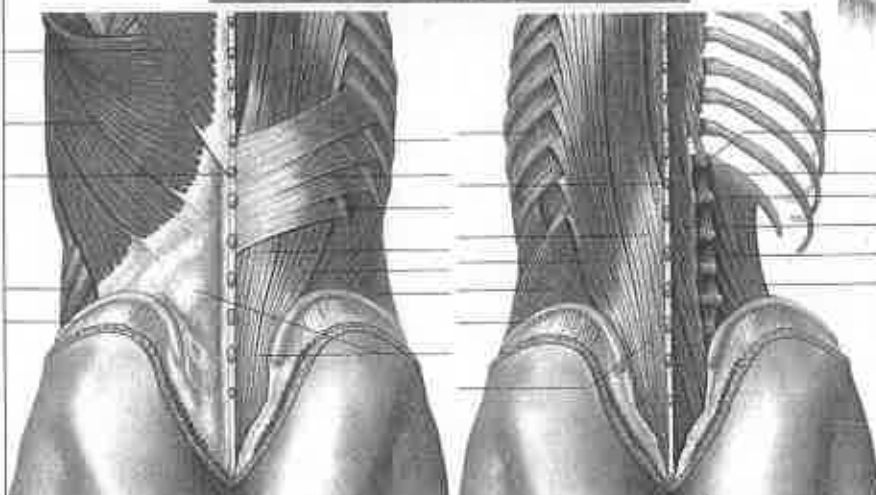
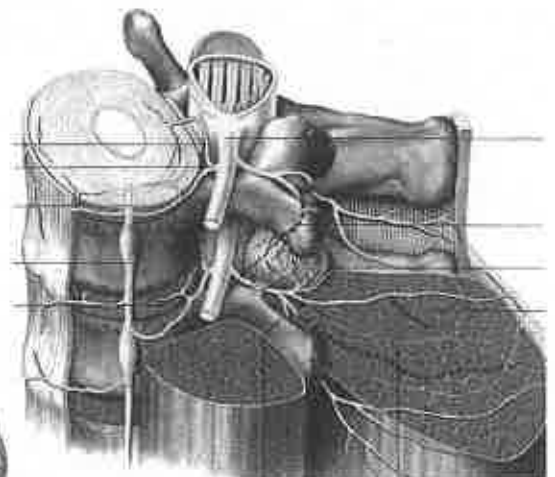
立位、椅座位、不自然な作業姿勢を長時間とり続けることで

(3) 不良姿勢による負荷

前屈、ひねり、後屈ねん転の姿勢をしばしばとることで

(4) 急激または不用意な動作

腰部の構造



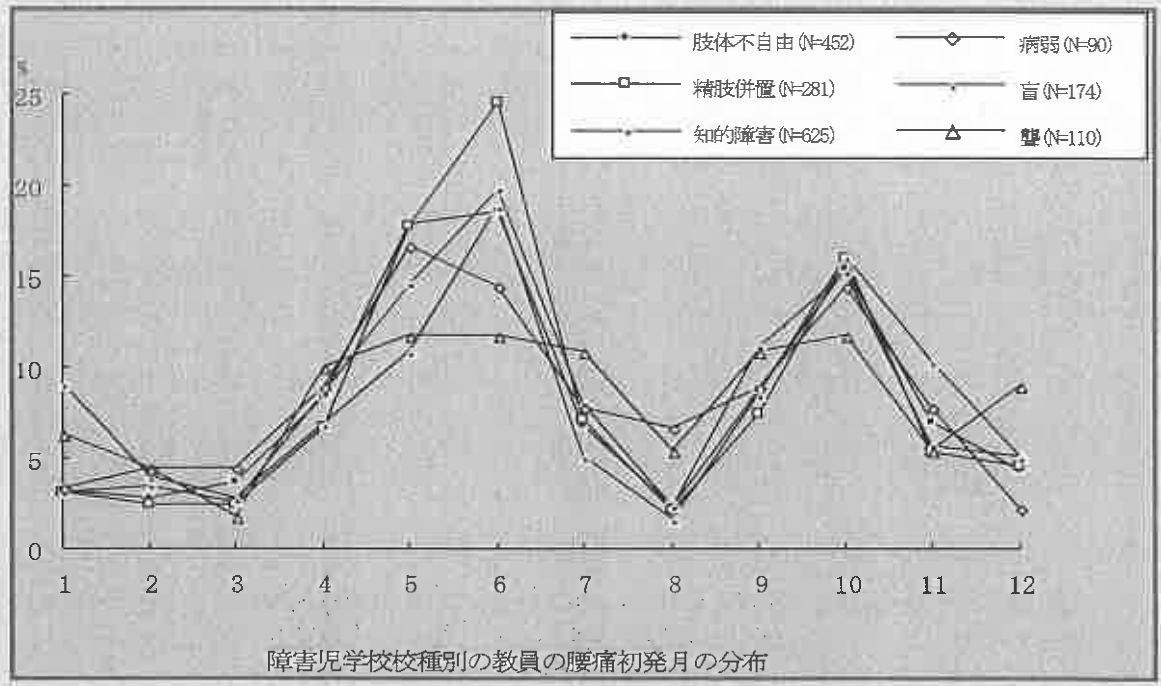
腰背部に負担のかかる姿勢例 (移乗、体位変換)



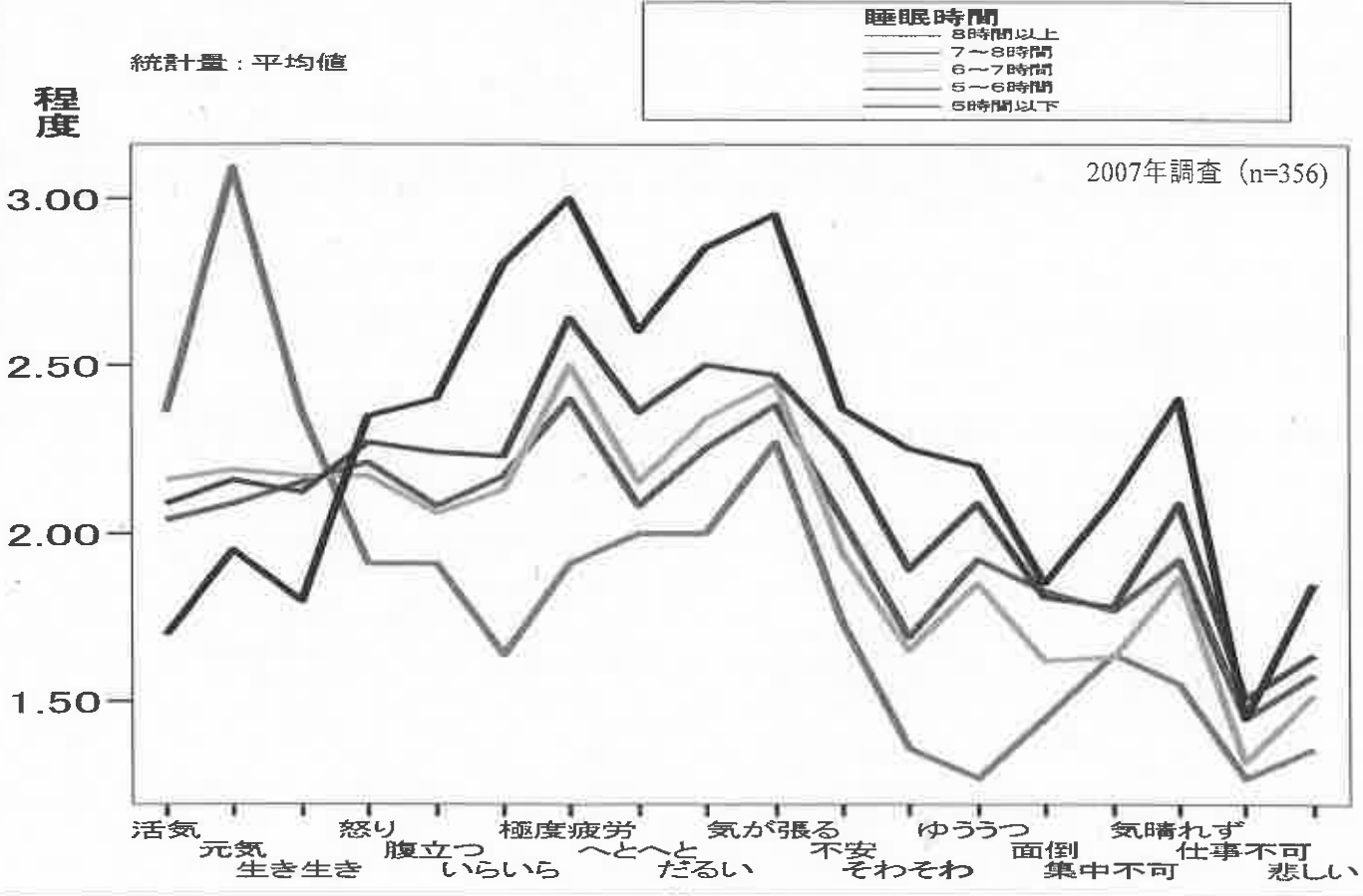
腰痛の発生要因(疲労回復阻害の要因)

- (1) 休息・睡眠
適切な休息・睡眠時間の確保ができない
- (2) 家事・育児負担
特に、女性への配慮

障害児学校教員は何月に腰痛をおこすか



睡眠時間と精神状態 (びわこ学園職員、2007年)



わが国における腰痛予防対策

(法令、行政指導) 2013年6月まで

* 労働基準法第64条 女性労働基準規則第2条

- * 女性労働者に対する危険有害業務への就業制限に「重量物取扱い業務」
- * 母性保護の見地、妊婦のみならずすべての女性労働者に適用
- * 満18歳以上：断続作業30kg未満、継続作業20kg未満

* 「職場における腰痛予防対策指針」公表（平成6年（1994年）9月6日付け基発第547号）

- (1) 重量物取扱い作業
- (2) 重症心身障害児施設等における介護作業
- (3) 腰部に過度の負担のかかる立ち作業
- (4) 腰部に過度の負担のかかる腰掛け作業・座作業
- (5) 長時間の車両運転等の作業

19

新・職場における腰痛予防対策指針

(2013年（H25）6月18日公表）

労働安全衛生マネジメントシステム手法による腰痛予防の提起

介護作業の対策は適用範囲及び内容を充実

「福祉・医療分野等における介護・看護作業」

対象・・・高齢者介護施設・障害児者施設・保育所等の社会福祉施設、医療機関、訪問介護・看護、特別支援学校等

原則として、人力による人の抱え上げは行わせないこと
抱え上げざるを得ないときは、適切な姿勢で、身長差の少ない2名以上で行う

ノーリフトケア（ノーリフティングケア）

作業環境の整備・・・訪問介護・看護においては、事業者が各家庭に説明し、対応策への理解を得るようにすること

20

特に福祉・医療事業所に指示された予防策

具体的な働き方 1

(1) 対象者の残存機能の活用

看護・介護の対象となる高齢者や障害者の残存機能を生かした看護・介護方法を選択する。

(2) 福祉用具の利用・**抱上げ介助の禁止**

リフトやスライディングシート、スライディングボード、立位補助具など福祉用具の活用



21

特に福祉・医療事業所に指示された予防策

具体的な働き方 2

(3) 作業姿勢・動作の見直し・**楽な姿勢・動作**

① 人による抱上げ介助の原則禁止

抱上げ介助は、労働者の腰部に著しく負担のかかる行為であり、対象者にとっても危険な行為である。

② 不自然な姿勢の回避

不自然な姿勢を回避・改善するためには、以下のような方法がある。

(イ) 対象者にできるだけ近づいて作業する。

(ロ) ベッドや作業台の高さを調節する。

(ハ) 椅子に腰掛けて作業するか、

ベッド上や床に膝をついて作業をする。

(ニ) 対象者に労働者が正面を向いて作業する。

(ホ) 十分な介助スペースを確保する。
作業する際に手すりや身体を支えたりする。



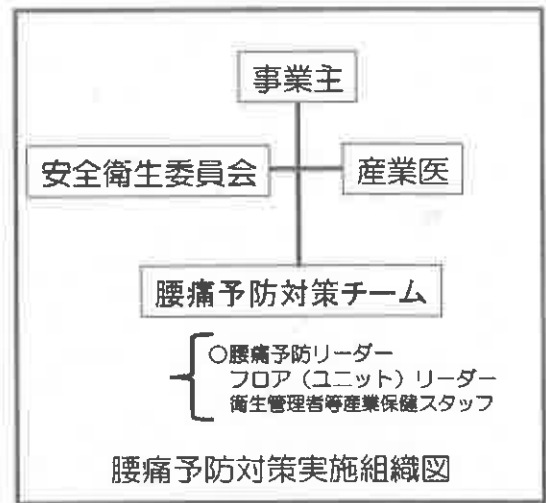
だれが腰痛予防に取り組むのか・・・腰痛予防対策実施組織

腰痛予防対策実施組織

社会福祉施設や医療機関における腰痛予防のためには、継続した活動と、活動成果の蓄積が必要となる。そのため、安全衛生委員会の下に腰痛予防対策チームを編成し、予防活動に取り組む必要がある。

(1) 腰痛予防対策チームの役割

腰痛予防対策チームは、安全衛生委員会と連携して、施設の腰痛予防対策の立案やその実施に取り組む。具体的には、リスクアセスメントの実施、リスク低減策の立案とその評価、福祉用具の使用に関する研修の企画と実施、など、労働者に対する腰痛予防に関連した事項の指導や支援にあたる。



①腰痛予防リーダー

腰痛予防リーダーは、施設内での腰痛予防対策について、衛生管理者や産業保健スタッフと連携して指導的な役割を果たす。

②フロア (ユニット) リーダー

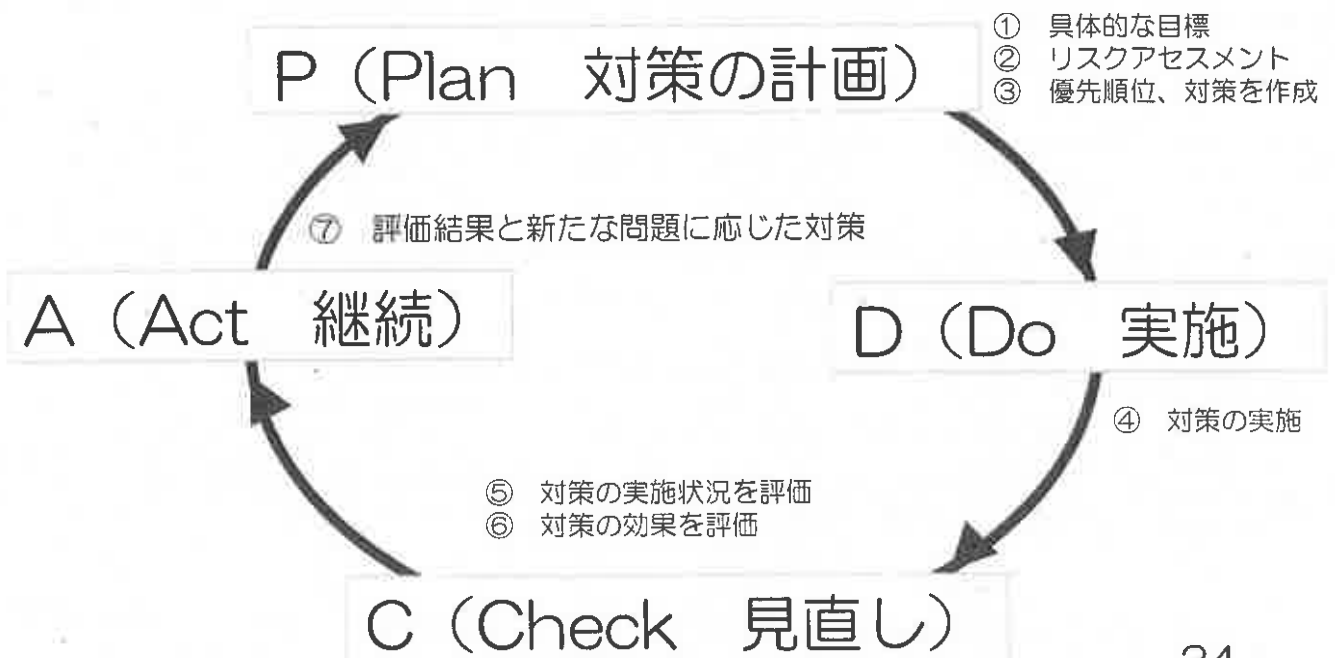
フロアリーダーは、所属するフロアの腰痛予防について指導支援する。

23

労働安全衛生マネジメントシステム

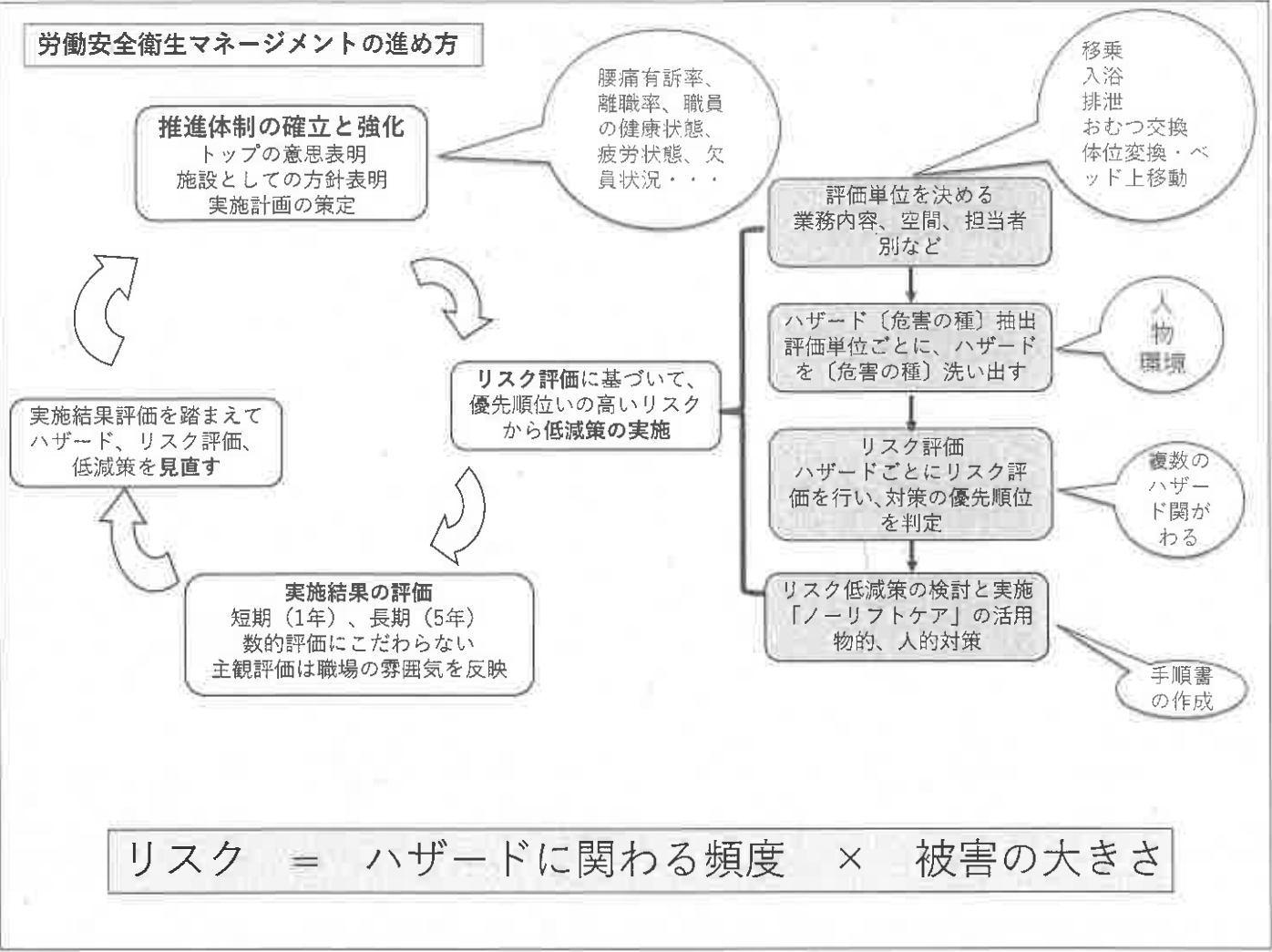
“PDCAサイクル”の確立

危険を自分で判断して行動できる労働者の養成



24

労働安全衛生マネジメントの進め方



スライディングシートの使用

<使用前>



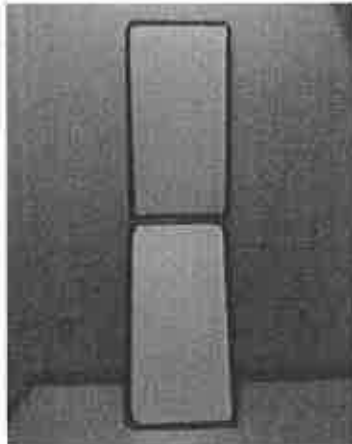
<使用后>



使用した介助補助具



スライディングシート



段差解消のための自作のボード
(費用500円)



スライディングボードと
肘かけ跳ね上げ式の
車椅子

段トールの作り方

【用意するもの】

- ・ 4mm厚のプラスチック製段ボール（ポリプロピレン製、ポリカーボネート製はダメ）ダンボールで、大きさは1820×910mm（一畳サイズ）、または、その半分＝半畳。
- ・ 5cm幅の梱包用ポリプロピレン（PP）テープ（養生テープでも可、ただし少し剥がれやすい）
- ・ 大きめのカッター、大きめのハサミでも切れる
- ・ 50～100cm長さの定規
- ・ （紙）ヤスリ、カッターやハサミを利用することもできる

【作り方】

- ・ ダンボールを910×405mmの大きさに切る。内部補強材走向の縦横を間違えないこと（図1）。間違えると強度が落ちるが、間違えても破れることはない
 - ・ 四隅を2cm程、切り取る（図2）。
 - ・ 周囲両面のすべての角を、紙ヤスリなどで鈍らせる。あるいは、テープで周囲をカバーし、断端の角やギザギザをカバーする。
 - ・ 長手方向を3等分くらいの長さに折って畳めるようにする（持ち運びや収納に便利）。あるいは、折りたたみたい箇所を、一度切り離し、梱包用ポリプロピレン（PP）テープでつなぐと、折り曲げ収納がしやすくなる。
- ただし、必ずしも折る必要はない。

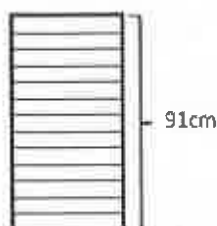


図1

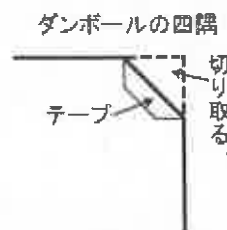


図2

浴室の固定式リフト



床走行リフト



天井走行リフト



入所施設で、鴨居を抜いて、隣室と繋がった天井走行リフト



居宅事業所に装備された床走行リフト



通所事業所に装備された天井走行リフト

病院での導入



病院管理部対象の講習会



リーダー対象の腰痛予防に関する安全衛生教育と介助保護具使用のための実習

看護教育への導入



理学療法士協会の取り組み

スポーツも、仕事も、体が資本
グッバイ、腰痛。

公益社団法人
日本理学療法士協会
NIPPON PHYSIOTHERAPY ASSOCIATION

Question 2
Silver

Question 3
Gold

理学療法士と一緒に腰痛を予防しよう!

2020

危険が放置された職場で長く働き続ける気持ちになりますか。

危険が放置された職場に就職したいですか。

安全の取り組み

ケガ・事故を防ぐ

ケガ・事故の発生構造

重大なケガ

中程度のケガ

「軽い」ケガ

もう少しでケガをしたかもしれない、
「ヒヤリ・ハット」経験

利用者さんのヒヤリハット
情報だけしか取り上げ
なくて、いいんですか？

原因分析の視点

仕事内容・道具
(もの)

ひと

環境・状況
(慌でいた・遠慮し
ていた・・・)

ヒヤリハットレポートの活用

ハザードの発見
リスクの再評価

情報の共有、対策の実施

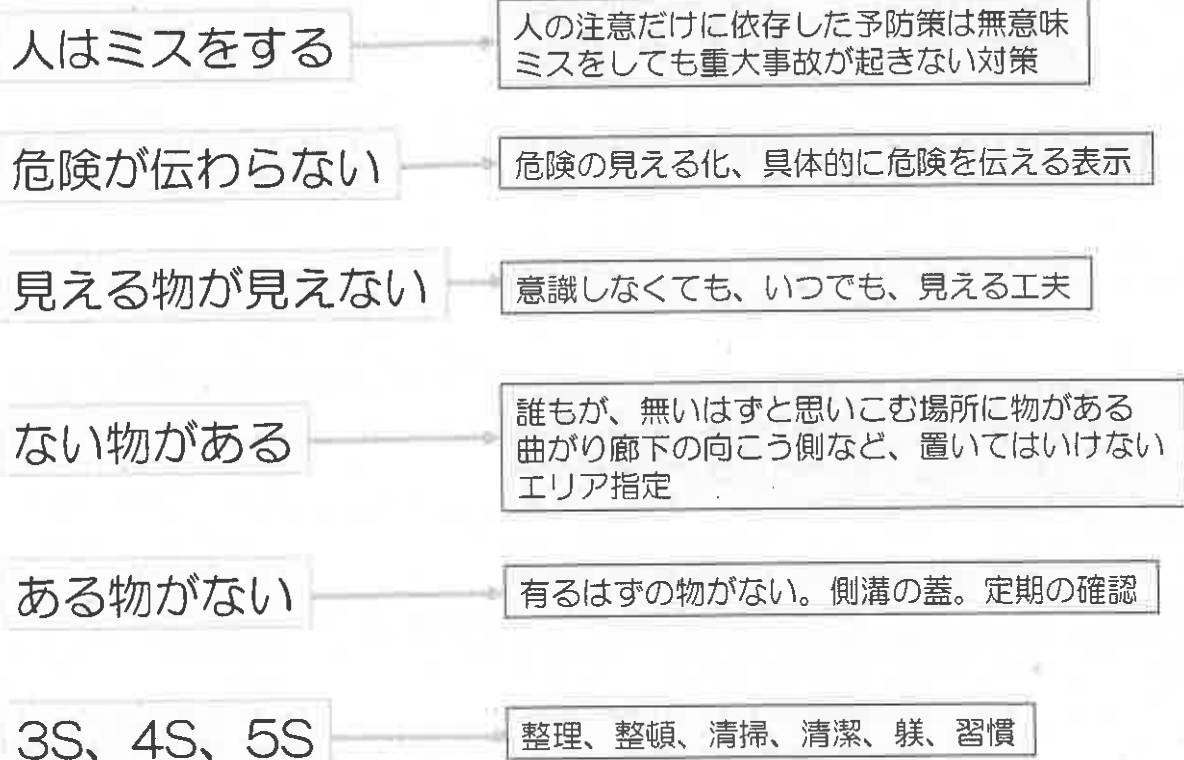
- ヒヤリハット体験者を責めない。「不注意論」に陥らない
- ヒヤリハット報告が多い職場は、危険感受性が高い職場で、多くの予防対策ができる
- ヒヤリハット報告が出しやすい職場文化の形成が大切

転倒の原因分析例

行為	原因物・動作	対策
すべる……	濡れた床	
つまずき…	点滴台の足	
ひっかかり…	コード	
ぶつかり……	車椅子	
共倒れ…	歩行介助	
	車椅子移乗	

39

事故防止のキーワード

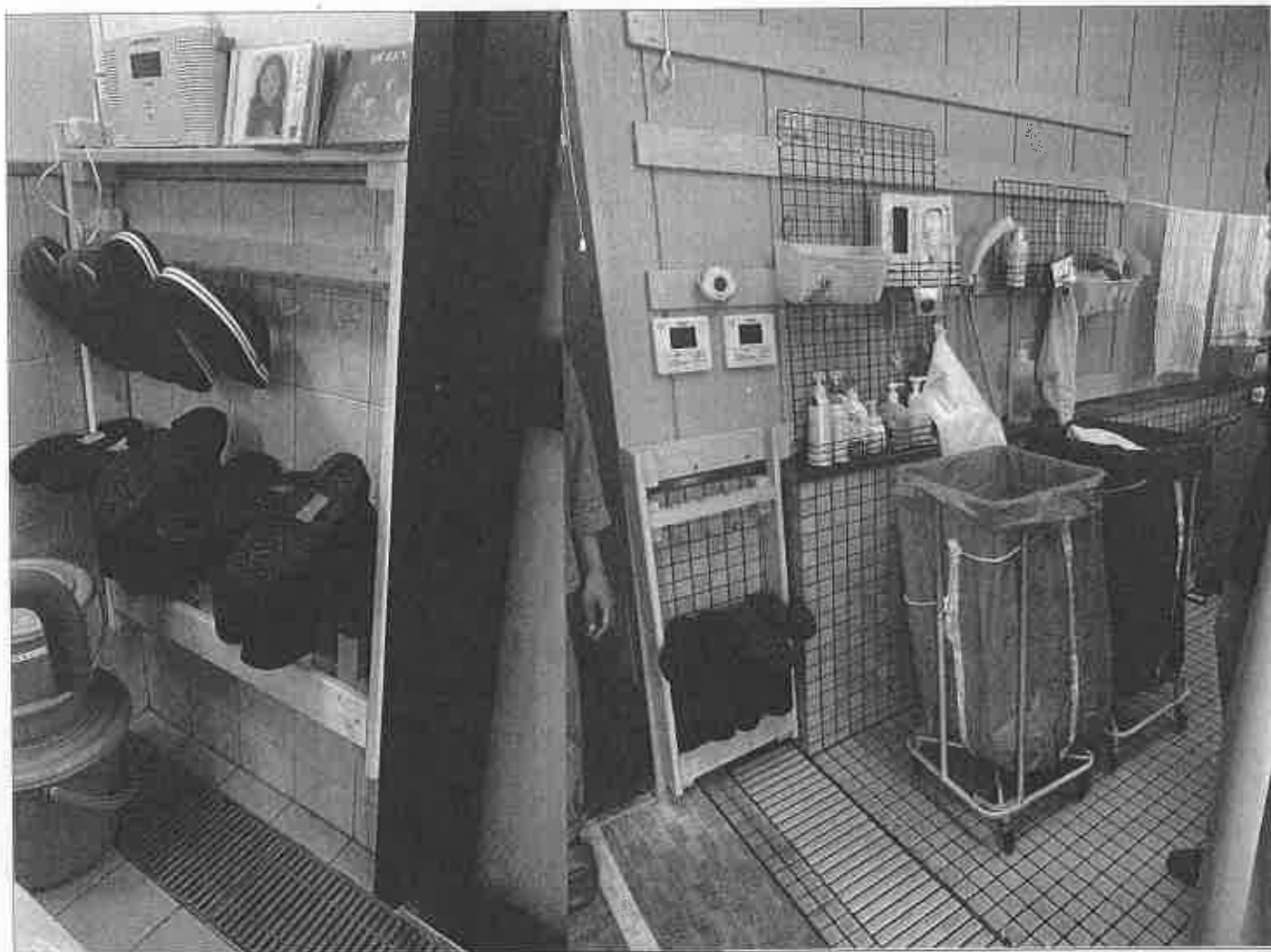




転落防止の工夫

41

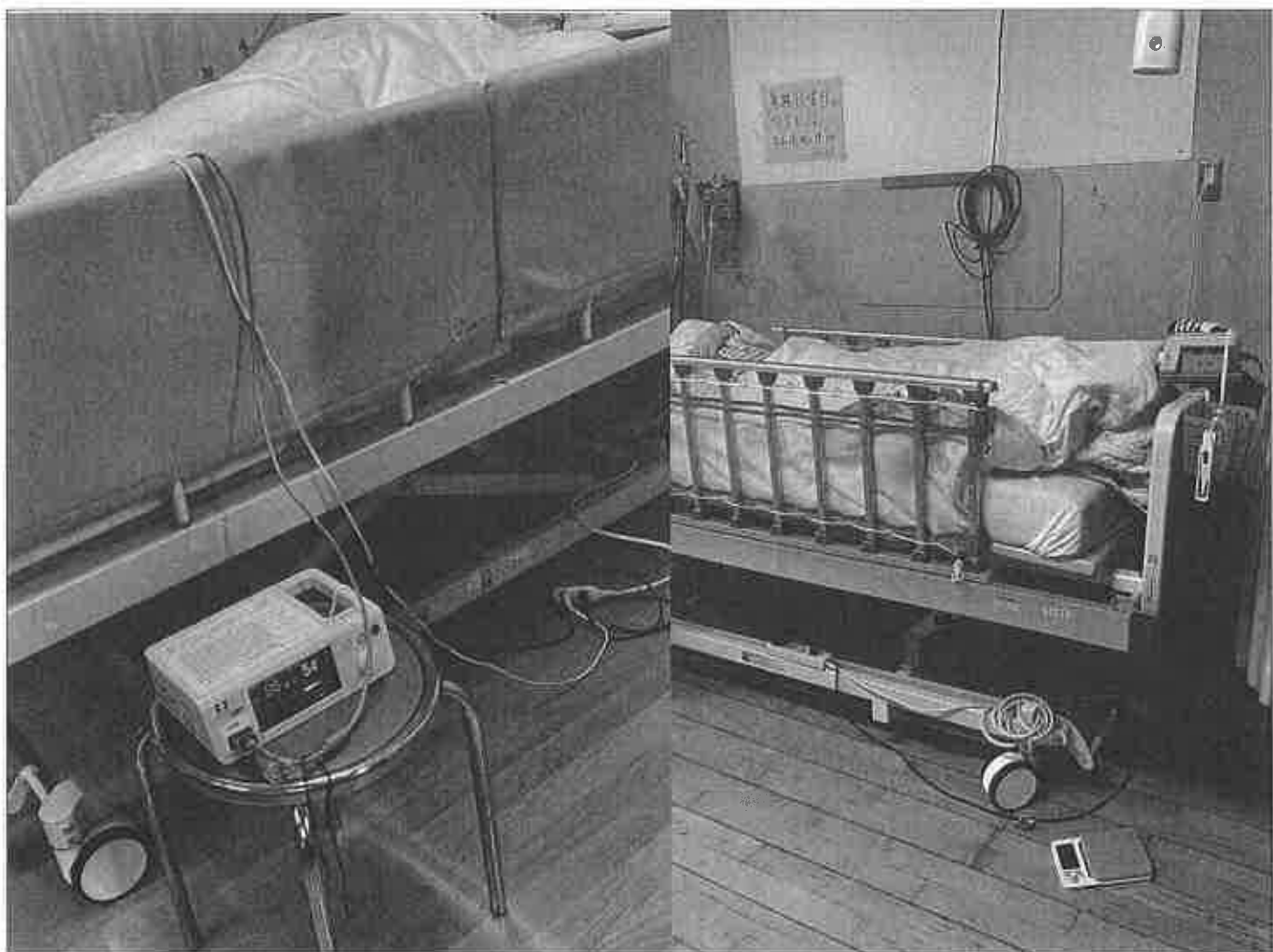


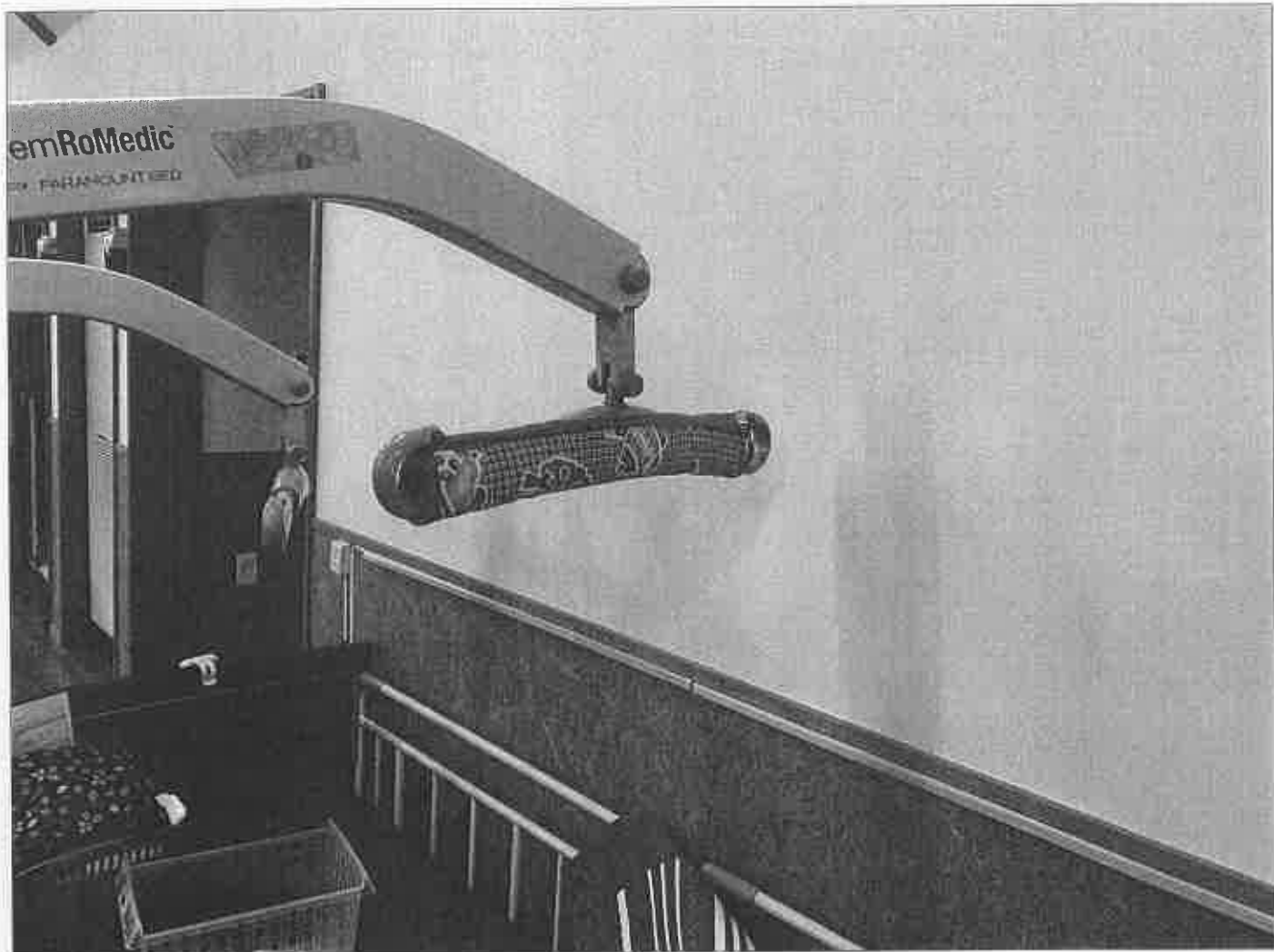


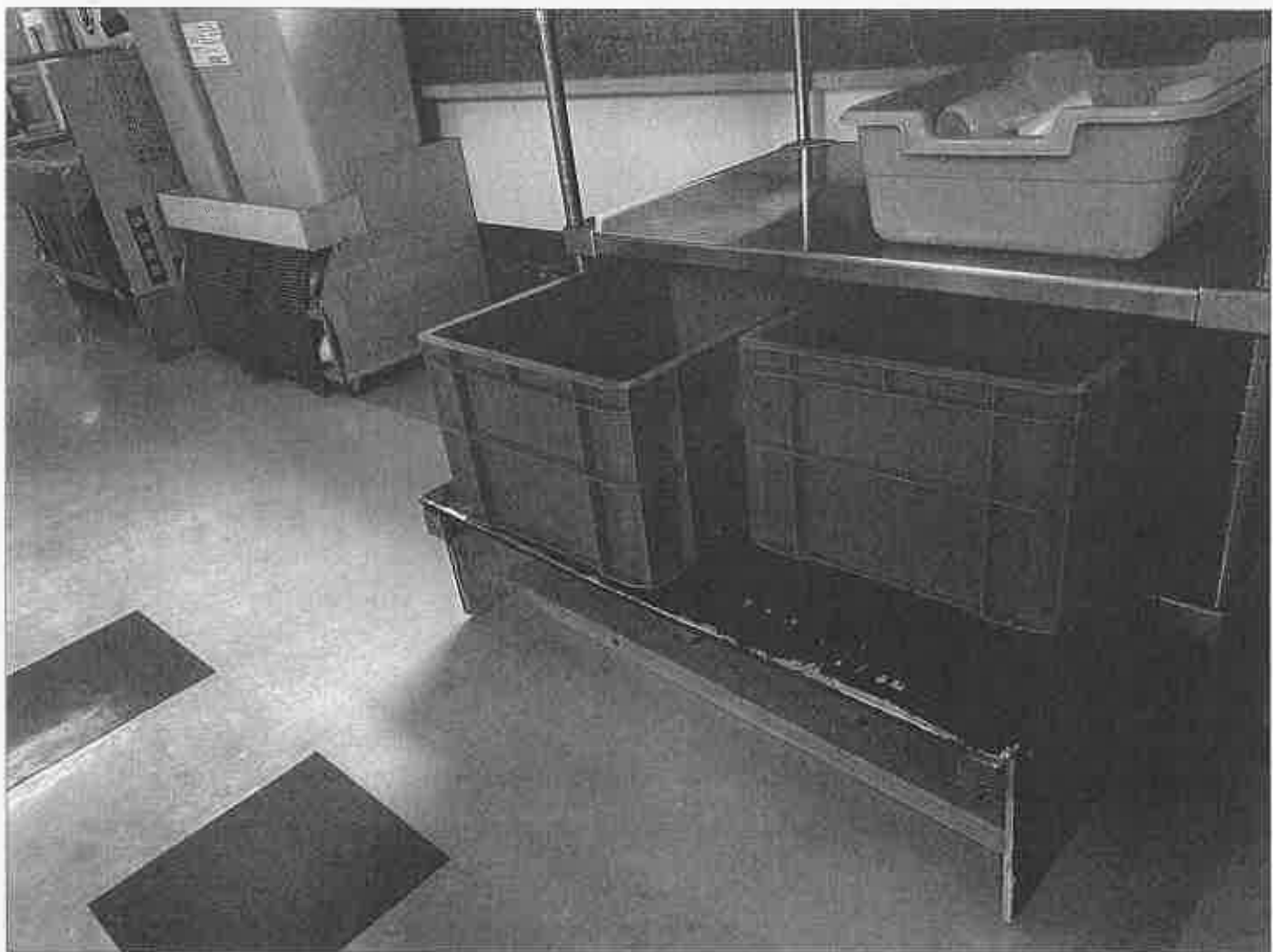
コードにつまずく



コードを整理する









転倒防止機能がついた手作りワゴン

51





整理整頓の工夫



ノーリフティングケアに取り組むと成果は出るの？

都道府県単位
での導入

高知県が全国モデル

高知県 持ち上げない 抱え上げない 引きずらない
**ノーリフティングケア
 宣言!!** ⚠️

持ち上げ、抱え上げ、引きずりといった重いケアを繰り返していませんか？自身の健康や利用者への負担軽減のために、ノーリフティングケアを実践しましょう。

利用者にも職員にも負担が大きい！
移乗のサポート

NO! →

人力での抱え上げはダメ！
 スライディングボードや
 リフトを上手に活用しましょう！

困っていませんか？
入浴のサポート

NO! →

リフトや
 特殊浴槽の活用で
 職員の負担軽減を！

NO!

不適切な処置を
 とらない
 対策を！

高知県 高知県福祉保健局 高知県福祉保健局 高知県福祉保健局

高知県の取り組み

(2014~2020年度)

年度(補助活用事業所数)	実施事業	実績額(単位:千円)	実施内容・成果
2014年(18事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	8,819	リフト18台、高さ調節機能付き電動ベッド64台、スライディングボード5台、シャワーストレッチャー2台
	研修・普及(ソフト面支援)	-	-
2015年(15事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	7,886	高さ調節機能付き電動ベッド66台、片肘なし車椅子9台、スライディングボード7台
	研修・普及(ソフト面支援)	2,377	①総合的なマネジメント支援研修:5施設が受講 ⇒ 実践報告会の開催:129名参加、②管理者向け研修:176名受講、③リーダー向け研修:72名受講
2016年(34事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	16,060	高さ調節機能付き電動ベッド165台、片肘なし車椅子117台、スライディングシート62枚、スライディングボード27個、グループ220枚
	研修・普及(ソフト面支援)	2,975	①総合的なマネジメント支援研修:7施設が受講 ⇒ 実践報告会の開催:200名参加、②管理者向け研修:75名受講、③リーダー向け研修:96名受講、④普及啓発用ポスターの作成・配布、⑤高知県としてのノーリフティングケア宣言
2017年(44事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	16,723	高さ調節機能付き電動ベッド148台、片肘なし車椅子120台、スライディングシート87枚、スライディングボード148個、グループ284枚
	研修・普及(ソフト面支援)	3,199	①管理者向け研修:169名受講、②リーダー向け研修:107名受講、③ノーリフティングケアガイドブックの作成と全施設への配布
2018年(57事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	23,335	高さ調節機能付き電動ベッド172台、片肘なし車椅子218台、スライディングシート62枚、スライディングボード73個、グループ207枚、介護ロボット17台
	研修・普及(ソフト面支援)	3,125	①基本セミナー:380名参加、②リーダー向け研修:38名受講、③在宅事業所向け研修:24名受講、④小規模事業所向け研修:12名受講、⑤ノーリフティングケアフォーラム:401名参加、⑥地域別研修:236名受講
2019年(83事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	27,050	高さ調節機能付き電動ベッド254台、片肘なし車椅子129台、スライディングシート62枚、スライディングボード51個、グループ18枚、介護ロボット16台
	研修・普及(ソフト面支援)	4,870	①マイスター(総合マネジメントリーダー)養成研修:262名受講、②技術リーダー養成研修:363受講、③リーディングマイスター(マイスターを養成する指導者)養成研修:27名受講、④リーディングリーダー(技術リーダーを養成する指導者)養成研修:34名受講、⑤介護ロボット・ノーリフティングケアフォーラム(159名参加)、⑥地域セミナー:78名参加、⑦普及啓発用ポスター制作・配布
2020年(111事業所)	機器導入補助(ハード面支援)	34,260	高さ調節機能付き電動ベッド209台、片肘なし車椅子56台、スライディングシート18枚、スライディングボード10個、グループ30枚、介護ロボット143台
	研修・普及(ソフト面支援)	4,419	①リモートマイスター研修:203名受講、②リモート技術リーダー養成研修:363受講、③リーディングマイスター養成研修:6名受講、④リーディングリーダー養成研修:5名受講、⑤ノーリフティングケアフォーラム・ハイブリッド開催(447名参加)、⑥リモート地域セミナー:6名参加、⑦小規模事業所向け研修:33名受講、⑧ノーリフティング手引書作成・配布、⑨特設サイト「地域まるごとノーリフティング」開設

(高知県子ども福祉政策部地域福祉政策課福祉・介護人材対策室 提供資料に基づき作成)



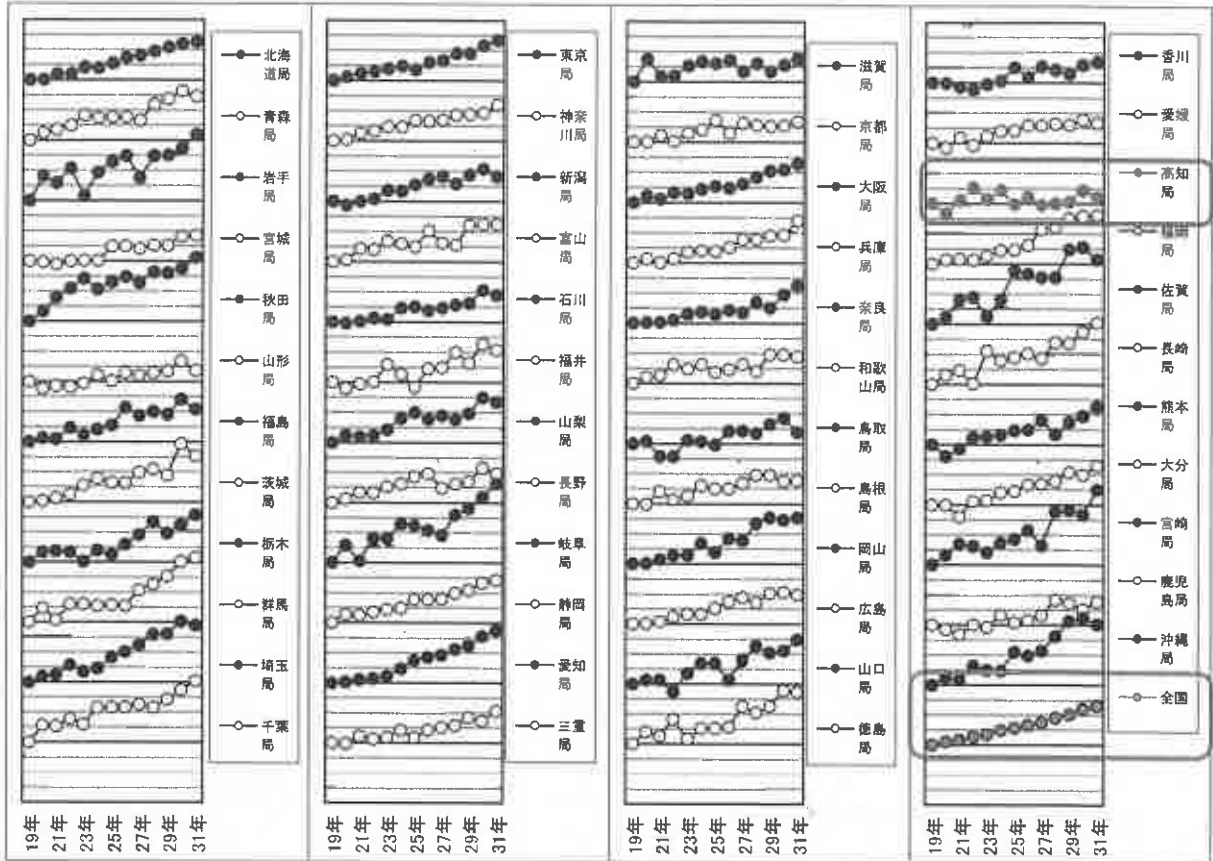
腰痛に起因する離職者・労災の変化

年度	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
腰痛離職	1名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名
年度	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
腰痛労災	2名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名

(高知「実践報告会」より)

社会福祉施設における死傷病災害件数の推移

2007年を100とし、1目盛25件



新規採用職員の変化（新卒学生）

年度	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
洋寿荘	2名	4名	2名	2名	0名	0名	0名
法人全体	2名	5名	3名	6名	2名	1名	1名

年度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年
洋寿荘	0名	0名	1名	3名	3名	1名	1名
法人全体	4名	3名	12名	15名	13名	2名	7名

ノーリフティングケア開始

(高知「実践報告会」より)



志望動機

1位	ノーリフトケア	12名
2位	研修体制 スキルアップ	10名
3位	職場・職員の 雰囲気が良い	6名
4位	子育て支援 働き方の相談 等	2名

平成29年、30年度のアンケート結果より
(高知「実践報告会」より) ※重複回答

高知家まるごとノーリフティング

<http://kochi-no-liftingcare.jp>

利用者にも職員にも優しいケアです。

高知家まるごとノーリフティング宣言とは

「ノーリフティングケアを普及させ、高齢者の健康と暮らしを支えるために取り組む。」「介護する側、される側の両方にとって負担を減らし、安全で安心してケアを受けられる環境を整える。」「ノーリフティングケアを認知症ケアのスタンダードとするべく取り組む。」「手元でケアの質を向上させるための実践、学びの場を創出する。」「実践の場を拡大する。」「

腰痛予防のための

ノーリフティング 手引書

ノーリフティングの
概念とケアの手法

高知県高知保健福祉部地域福祉課
一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク

62

よくある質問

よくある質問 その1

- ① 手間がかかる
- ② 抱き抱えた方が早い
- ③ 体重の重い人は複数で抱えている



- ① 利用者さんの生活ペースではなく、介護者の都合に合わせて介護をしていることにならないか
- ② 介護者を危険にさらすだけでなく、利用者さんも危険にさらしている
- ③ 一人で、安全に介護できるので、結局は、作業時間の節約になる

よくある質問 その2

職員だけが楽をして良い介護ができるの？



- ① 職員の安全や負担の軽減は、ゆとりのある「人間的」な介護に繋がる。
- ② 抱き抱えない介護は、利用者さんにとっても、安全で快適な介護に繋がる
- ③ 抱き抱えない介護は、利用者さんの意欲や機能の維持回復に繋がる



ノーリフトケアが利用者さんの安全につながる

受診内容	平成29年度	平成30年度	平成31年 令和1年度
内科	23	9	4
整形外科	58	31	25
皮膚科	111	62	41
循環器科	0	6	6
耳鼻科	13	15	18
泌尿器科	5	2	0
精神科	151	131	109
脳外科	16	11	8
形成外科	5	5	0
歯科	6	4	6
外科	7	4	0
救急外来	22	11	9
合計	417	291	229

結果としての 外来受診減少

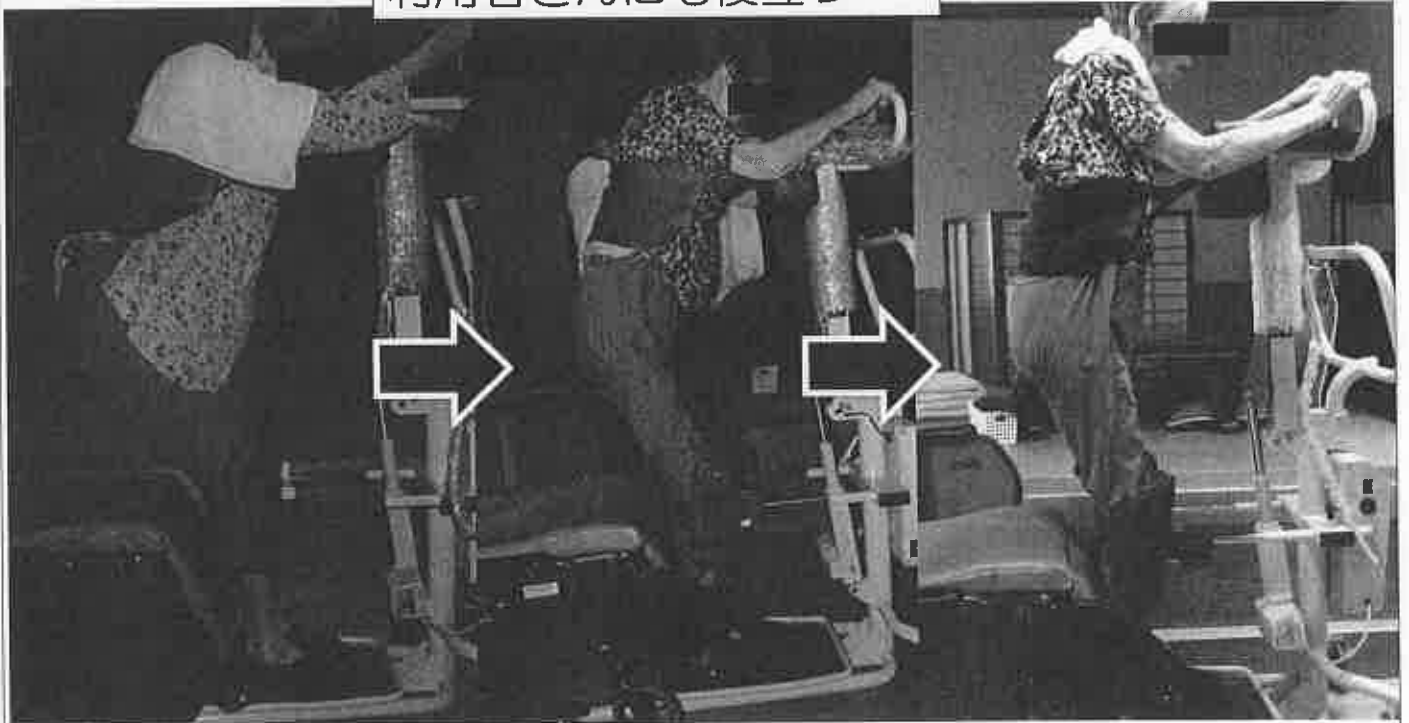
- 外来受診数の減少
- 褥瘡発生の減少

(平成28年5件・29年6件
30年は持ち込みの褥瘡が
1件あったが、それ以降の
発生はなく、現在の保有者
はゼロとなっている)

(ウエルプラザ高知)

(高知「実践報告会」より)

ノーリフティングケアは 利用者さんにも役立つ



立位補助機3ヶ月使用に伴う姿勢変化

(高知県ウエルプラザ洋寿荘提供)

ノーリフトケア宣言

基本理念

私たちは、ノーリフトケアの実践を通じて、利用者やその家族と、すべての職員にとって安全で快適な施設を実現します。

基本方針

職員の安全と健康は、利用者の安全で快適な生活を保証する基盤です。すべての職場で、労働安全衛生マネジメントシステムを確立し、安全で快適な職場作りにつとめます。このために必要な資源を配備し、リスク評価を定期的実施し、リスクの少ない健全な職場作りに取り組みます。

69

第14次労働災害防止計画（2023年度～2027年度）

重点事項ごとの具体的取組

重点②

②労働者（中高年齢の女性を中心に）の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進

事業者に取り組んでももらいたいこと【作業に合った環境予防対策】

介護・看護：身体の負担軽減のための介護技術（ノーリフトケア）や介護機器等の導入

荷物取扱い：人力による重量物の取扱いをできるだけ避け、リフターや自動搬送装置を使う

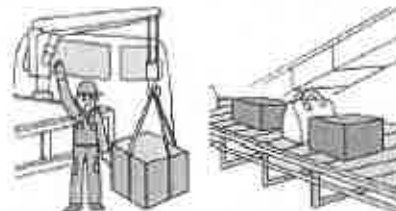
重量物注意の警告表示を行っている 等



抱え上げない介護・看護で、腰痛を防止しましょう！



【スライディングボード】 【スライディングシート】



【リフター】

【自動搬送装置】



【重量物注意の警告表示】

アウトプット指標（2027年まで）

- ノーリフトケアを導入している事業場を2023年より増加（介護・看護作業）

アウトカム指標（2027年まで）

- 社会福祉施設での腰痛の死傷年千人率を2022年と比較して減少

抱え上げない介護（ノーリフティングケア） がめざしているのは

介護や看護に従事する人たちが、安全や健康上の不安なく働くことができ、介護や看護を受ける人たちが安全に快適に生活できる福祉・医療現場です

15:30~16:20

事例報告「ノーリフティングケア導入による効果等について」

介護老人保険施設 ふなき久和園

特別養護老人ホーム みどりの郷

ノーリフティングケア導入による効果について (愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業実践報告)

医療法人社団久和会

介護老人保健施設 ふなき久和園

ノーリフティングケア推進委員会

施設概要

(従来型)

介護老人保健施設 **ふなき久和園**

- 所在地 愛媛県新居浜市船木
- 開設 平成 9年 9月
- 入所(利用)定員 80床
(2フロア、ショートステイ含む)
- 通所リハビリステーション
定員 40名

事前アンケート対象者 (R4. 9.)

- 職員数 27名
(・介護18名 ・看護9名)





応募理由

- ・腰痛や身体的負担を訴える職員の増加
- ・身体的負担による離職者の存在
- ・力任せの介護による利用者様への心身の影響



改善目標

- ・職員の腰痛や身体的負担の軽減
- ・介護技術のスキルアップと介護人材の確保
- ・利用者様が安心・安全に生活できる環境作り



取組み内容

- ・事前アンケートの実施
- ・ノーリフティングケア推進委員会立ち上げ
(福祉用具の導入物品の選定、取組み内容の検討)
- ・ノーリフティングケアについての勉強会
- ・研修への参加〈個別研修(講師による勉強会)〉
- ・福祉用具の活用状況と事例
- ・事後アンケート結果
- ・ノーリフティングケア導入による効果
- ・今後の取組みについて

職員の状況・職場環境等

令和4年8月現在（導入前）

□ 職員数（入所棟のみ）

・介護職員 18名 ・看護職員 9名

□ 福祉用具・機器の所有状況

・ベッド 80台（内訳）高さ調整機能付き 17台（手動）
高さ調整機能無し 63台
（介助バー所有 10台）

・車いす 71台

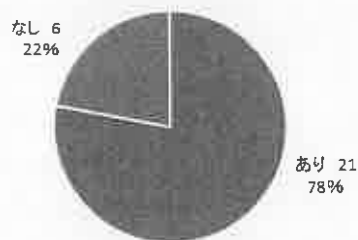
（内訳）スタンダード 44台 リクライニング 3台
モジュール 16台 ティルト & リクライニング 8台

・スライディングボード 1枚

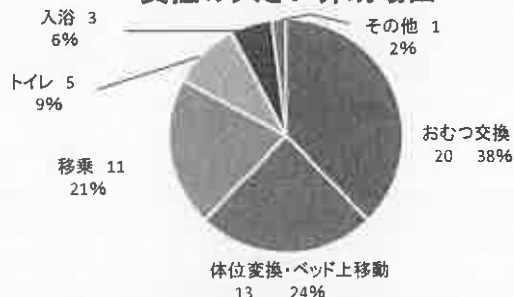
・マルチグローブ 2組

導入前（腰痛に関する）アンケート結果（n=27）

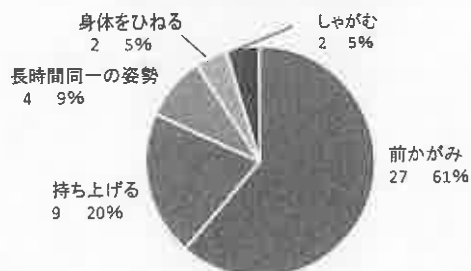
腰痛の有無



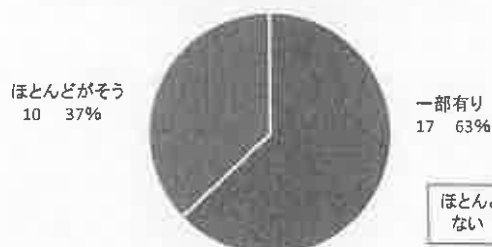
負担の大きい介助場面



負担の大きい介助姿勢

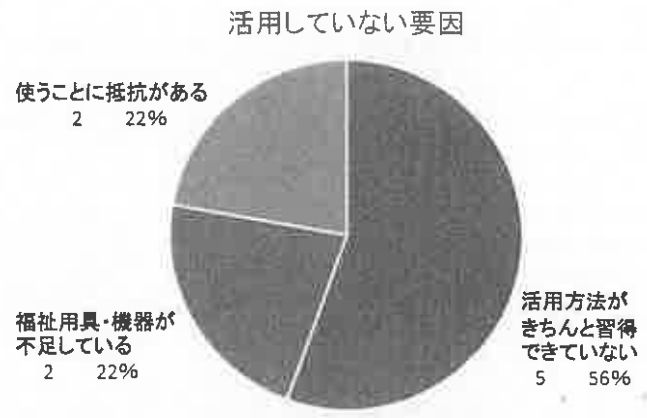


持ち上げや引きずり介助はあるか



導入前(福祉用具の活用)アンケート結果 (n=27)

導入前からある福祉用具 スライディングボード 1枚 マルチグローブ 2組



ノーリフティングケアについての勉強会



(ズレ体験)

R4.10.5. ノーリフティングケアとは



R4.11.15. 福祉用具の使い方

・全体研修 令和4年9月8日

・アドバイス研修 令和4年10月27日
(特養みどりの郷 様にて)

・個別研修(講師による勉強会)



利用者の安心・安全「姿勢の見方」
令和4年11月24日

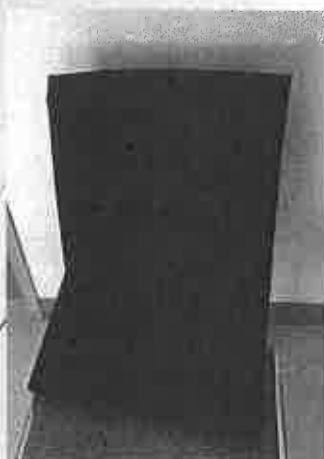


利用者の安心・安全「姿勢の整え方」
令和5年2月16日

福祉用具の導入物品の選定

新しく購入した福祉用具

(R4.11.11.入荷)



移座えもんシート
M 2枚 ML 2枚



マルチグローブ
2組



スライディ (モルテン)
1枚



ターンテーブル 1枚 (R5.3.28.入荷)

取り組み内容の検討

腰痛予防の取組み（ベッド上での介助）

- ・高さの変わるベッド（手動）の活用ができていない
（ハンドルを回すのが面倒でそのまま使用していた）

→ 経管栄養の方、体重のある方等に高さ調整できる
ベッドを使用して高さ調整を行なうようにした



おむつ交換や
体位変換での
前かがみの姿勢
が軽減した

福祉用具の活用



スライディングシート
2人介助での移乗
ベッド⇒リクライニング



スライディングボード
移乗介助
ベッド⇒車いす



事例 1. Nさん (74歳) 女性 要介護5



リクライニング
⇒ベッド

今までは2人介助で抱えて移乗
⇒スライディングシートを使用
2人介助で滑らせて移乗

壁に介助手順を
掲示した



持ち上げないので
余分な力を使わず
楽に介助できる

事例 2. Tさん (82歳) 女性 要介護5



ベッド⇒車いす
スライディングボードを
使用しての移乗

下肢に内出血ができることが多かったが
移乗方法を変えてからはできなくなった

事例 3. Yさん (95歳) 女性 要介護3



臥床時の
ポジショニングを
指示して実施する

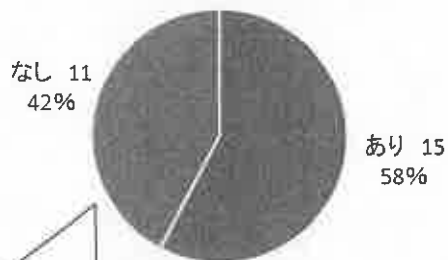


体動が激しい方で 体交は行なっていなかった
12月初め活気がなくなり食欲低下、拘縮も進む
R5.1.21. 左肩に褥瘡が出来てしまった

数日後から身体が伸び始めてくる
おむつ交換が行いやすくなった
3月初め 食欲回復、褥瘡も治癒

導入後アンケート結果 (n=26) (R5.3.10.実施)

腰痛の有無

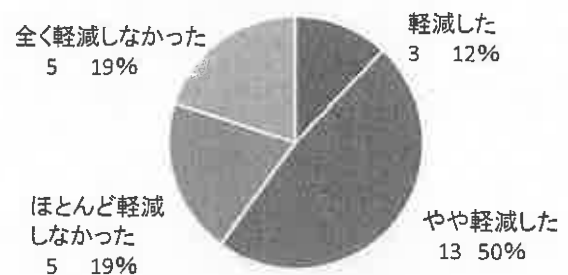


腰痛が無くなった 5名

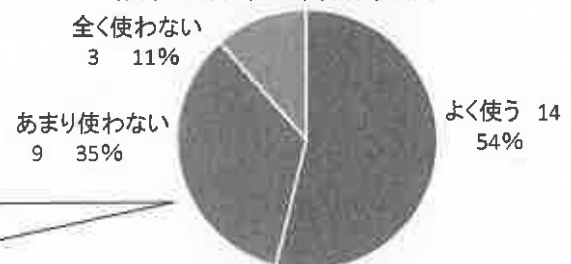
約半数の職員があまり活用出来ていない

- ・使うのに時間がかかる
- ・取りにいくのが面倒
- ・使うのを忘れてしまう

身体的負担について

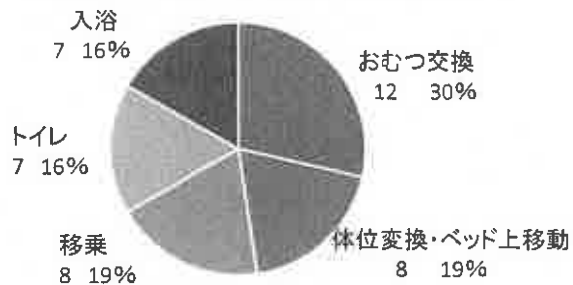


福祉用具の利用状況



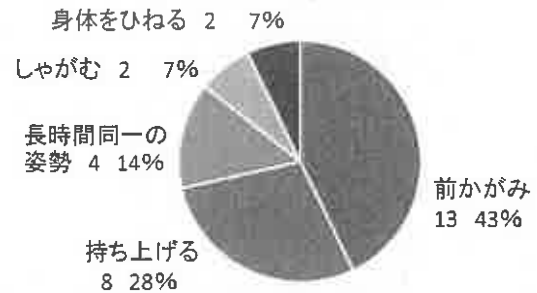
導入後アンケート結果 (n-26)

負担が大きいと感じる介護場面



ベッド上移動・おむつ交換・移乗の負担が減少

負担の大きい介助姿勢



高さの変わるベッド(17台)を活用し
前かがみの姿勢は減少

昼夜ともおむつ交換対象者 37名

ノーリフティングケア導入による効果

□ 職員 (介護者)

- ・ 身体的負担が軽減、やや軽減 (約6割) ・ 腰痛改善 5名
- ・ ノーリフティングケアにより職員の意識変化、技術向上
- ・ 介助方法等について話し合う場面が増えた
- ・ 利用者様を以前より細かく観察するようになった

□ 利用者様 (要介護者)

- ・ 皮膚剥離や内出血が減少 (ヒヤリハット報告減少)
- ・ 拘縮が軽減し姿勢が良くなった
- ・ 筋緊張が緩み表情が以前より穏やかになった
- ・ 褥瘡の改善

今後の取組みについて 1

- トータルセーフティケアの考えを持ち 24時間で物事を見ていき
ポジショニングなどの技術の向上を目指していく
まずは、**臥床姿勢のポジショニング**から
 - ・ 毎月、利用者様を決め集中的に取り組んでいく
 - ・ ポジショニング写真の掲示

ポジショニング例(右側臥位)



身体の軸、ねじれに注意して支持基座面積を広く
筋緊張を取り除く(つなぎ)を確める

ポジショニング例(左側臥位)



身体の軸、ねじれに注意して支持基座面積を広く
筋緊張を取り除く(つなぎ)を確める

今後の取組みについて 2

(ノーリフティングケアを推進していくための設備投資)

- 電動ベッド導入 20台 (3モーター) 購入
(C1、C2レベル、昼夜おむつ使用の入所者の方に使用)
- 福祉用具を活用し職員の腰痛予防や負担軽減に繋げていく
 - ・ 移座えもんシート ML 4枚 M2枚 R5.6.2. 追加購入
 - ・ 移座えもんグローブ 10組 (介護職員が常時携帯し使用)
- リフトの導入の取組み
 - ・ デモ機を使用するなど 導入の検討

デモ機勉強会

マッスル(株) SASUKE

ロボット介護機器・移乗アシスト



今後の取組みについて 3 (これからの課題)

- ノーリフティングケアの研修や勉強会を続け職員間の温度差を無くしモチベーションを維持していく
- 現在は一部の入所者の方に行えていない、他の入所者の方にもそれぞれに合った福祉用具を活用出来るようにしていく
- ノーリフティングケアを進めるために業務改善を行い無駄をなくして取り組みやすい環境をつくる



ご静聴ありがとうございました。

令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業 マネジメント研修 事例報告 ノーリフティングケア導入による効果等について

社会福祉法人 聖マリア会 特別養護老人ホーム みどりの郷
介護主任 神野 翔平
介護副主任 浅野 有紀
機能訓練指導員 坂本 絵美

*写真使用の承諾を頂いています



令和2年度 モデル事業の応募理由

- 腰痛職員のやむを得ない離職発生を防ぎたい
- 今後腰痛対策強化を図り、利用者様・職員の双方にとって、優しい環境を確立したい

目標

- 職員の腰痛軽減
- ノーリフティングケアに対する全職員の意識統一
- 福祉用具導入・活用による移乗介助のスキルアップ

取り組みの中で変化していく考え

研修前の『ノーリフティングケア』とは？

=持ち上げないで介助が出来る！

腰への負担がなくなる！職員が楽になる！



研修を重ね、介護者側だけでなく、利用者様にとっても安心・安全が重要であり大きな目的であると意識改革！

=24時間の**トータルセーフティケア**への関心が強くなる！！

令和3年度～PDCAサイクル継続～

- **習熟度チェックカード**活用し勉強会
- 各利用者様の**ポジショニング**掲示
- 各担当が周知徹底
- **圧抜きグローブ・いざえもんシート**活用徹底
- **リフト本格的導入**
- **トータルセーフティケア**への取り組み強化

ノーリフティングケア 習熟度 チェックカード

ノーリフティングケア 基礎的知識・技術				利用者個別心助方法			
ベッド	リモコン		車椅子	たわみ把握	A氏	居室移乗	
	軸			修正方法	B氏	居室移乗	
	不快感		寝返り(実技)	過去		トイレ移乗	
ターン テーブル	適応者		庄抜き	進化	C氏	居室移乗	
	注意点			施行目的	D氏	居室移乗	
	実技(職員)			かたまりの把握	E氏	居室移乗	
スライディング ボード (座位用)	適応者		クッション	身体の使い方	F氏	居室移乗	
	注意点			施行タイミング	G氏	居室移乗	
	実技(職員)			実技(職員)		トイレ移乗	
スライディング ボード (臥位用)	適応者		褥瘡に対する知識		H氏	居室移乗	
	注意点		クッション	硬さの違い	I氏	居室移乗	
	実技(職員)			種類別の機能	J氏	居室移乗	
リフト (シート)	適応者		臥床姿勢	身体軸把握	K氏	居室移乗	
	注意点			かたまり把握	L氏	居室移乗	
	実技(職員)			つなぎ把握			
リフト (脚分離)	適応者		臥床姿勢の 整え方	重さの流れ把握			
	注意点			クッション場所			
	実技(職員)			実技(職員)			
介護時の身体の使い方(実技)				肢位選択のポイント			
スライディング シート (臥床時)	敷き方		臥床姿勢の 整え方	重さの状況把握			
	身体の使い方			重さの流し方			
	実技(職員)			クッションへなじませる			
スライディング シート (移乗時)	適応者		臥床姿勢の 整え方	その他ポイント			
	注意点			実技(職員)			
	実技(職員)						

習熟度チェックカード

【実施後の問題点】 しっかり理解できているか不透明



【委員会の思い】 今後の課題を見つけない

常に考えて業務する力を付けたい



【対策】 習熟度テスト実施



【結果】 理解度が明確になり次の課題発見！

自身の振り返りができ『考える』意欲向上！

圧抜きグローブ・いざえもんシート活用徹底

グローブ導入当初：携帯徹底！するために...

ウエストポーチ活用、ポスター掲示、職員間で荷物チェック

シート導入当初：使用徹底！するために...

『まとめて管理』から『居室管理』へ、問題点即時解決し使用ハードル下げる



時間が経過... 【持っているだけ】 【置いているだけ】



【対策】 ベッド上での介護時**ペア体制** (オムツ交換や体位交換時など)
ペアで確認しながら使用を促す

リフト本格的導入

とりあえず触れて実践あるのみ！

- 対象者選択：最少人数限定
- 活用時間：マンパワーにゆとりのある時間帯指定
昼食前離床 — 昼食後臥床
おやつ前離床 — 夕食後臥床
- 2人体制で使用：安全性を高めるため
職員の精神的負担を軽減するため

リフト本格的導入 問題発生その1

- 車椅子への移乗ポジショニング不良
- 車椅子上でのシートセッティング不良
- 操作に時間がかかる⇒抱え上げでの移乗方法を選択

職員間での活用頻度に差

リフト本格的導入 使用頻度差への対応策

- 操作自体の技術面は個別指導にて改善
- 慣れるまで繰り返し使用
⇒それぞれの利用者様のコツをつかみ操作時間短縮
- 日替わりでリフト担当職員を決定

差が解消し平等に使用

リフト本格的導入 問題発生 その2

今までの業務内容が大きく変化しストレスや焦り増大



【対策】 個別面談にて悩みを素早く解決！
検討姿勢が表面化しストレス軽減！



【効果】 職員の心に余裕誕生 リフトへの抵抗感軽減



【結果】 リフト活用量安定
職員から嬉しい意見が徐々に始まる...

リフト本格的導入 職員からの嬉しい意見

『リフト活用を拡大したい！』

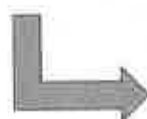
『マンパワー不足な時間帯の離臥床も使用できないか？』



【対策】 勤務体制を見直し変更

『リフト対象者を増やしたい！』

『利用者様の身体状況に合わせて選択したい！』



【対策】 臨機応変な対応⇒職員の考える力が向上

対象者全ての離臥床にリフトを使用している

トータルセーフティケアへの取り組み強化

24時間の姿勢 = 夜間の睡眠姿勢をポジショニングしていこう

- 再学習のための勉強会開催
- ポジショニング写真掲示全利用者様に拡大
- 利用者様へのポジショニング実践学習

問題発生！

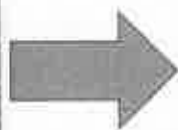
職員間でのケア頻度に差

トータルセーフティケア ケア頻度差への対応策

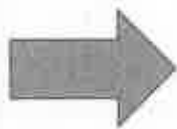
- 時間管理での体位変換を指定しケア頻度統一
- 巡視方法変更：夜勤中巡視する範囲を交代
⇒【人の目】が発生することによる意識向上
職員間でのポジショニングに関する意見交換可能

差が徐々に解消
ケアの質向上

症例① 【トータルセーフティケア徹底 3 か月後】

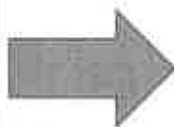


症例① 【トータルセーフティケア徹底 9 か月後】



★ ★ ★
筋緊張緩和
さらに獲得成功！
→関節可動域
さらに拡大！
⇒臥位姿勢・座位姿勢
共に大きく変化
★ ★ ★

症例① 【座位姿勢の変化】



座位姿勢変化ポイント

- ・ヘッドレストへ頭部接地
- ・上肢のリラックス状態
- ・仙骨座り改善
- ・フットレストへ足底接地



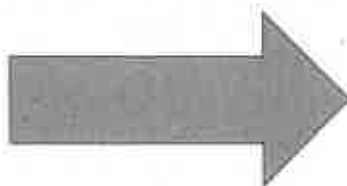
笑顔😊



症例②



ポジショニング前



自走😊



ポジショニング後

令和4年度 その①

令和3年度の取り組みをまとめ報告発表

- 令和4年8月31日
第17回 愛媛県老人福祉施設大会 ⇒ 優秀施設に選出
- 令和4年9月27～28日
第69回 四国老人福祉施設関係者研究大会 ⇒ 優秀施設に選出
- 令和5年1月26～27日
第1回全国老人福祉施設大会・研究会議～JSフェスティバルin栃木～
⇒ 奨励賞受賞

令和4年度 その②

令和4年度の協力事業所へ応募・参加

【応募理由】

ケアの質向上

取り組みを風化させず発展・継続する好機

推進事業所へのサポートにて知識の共有

新たな課題発見



参加し新課題発見♪

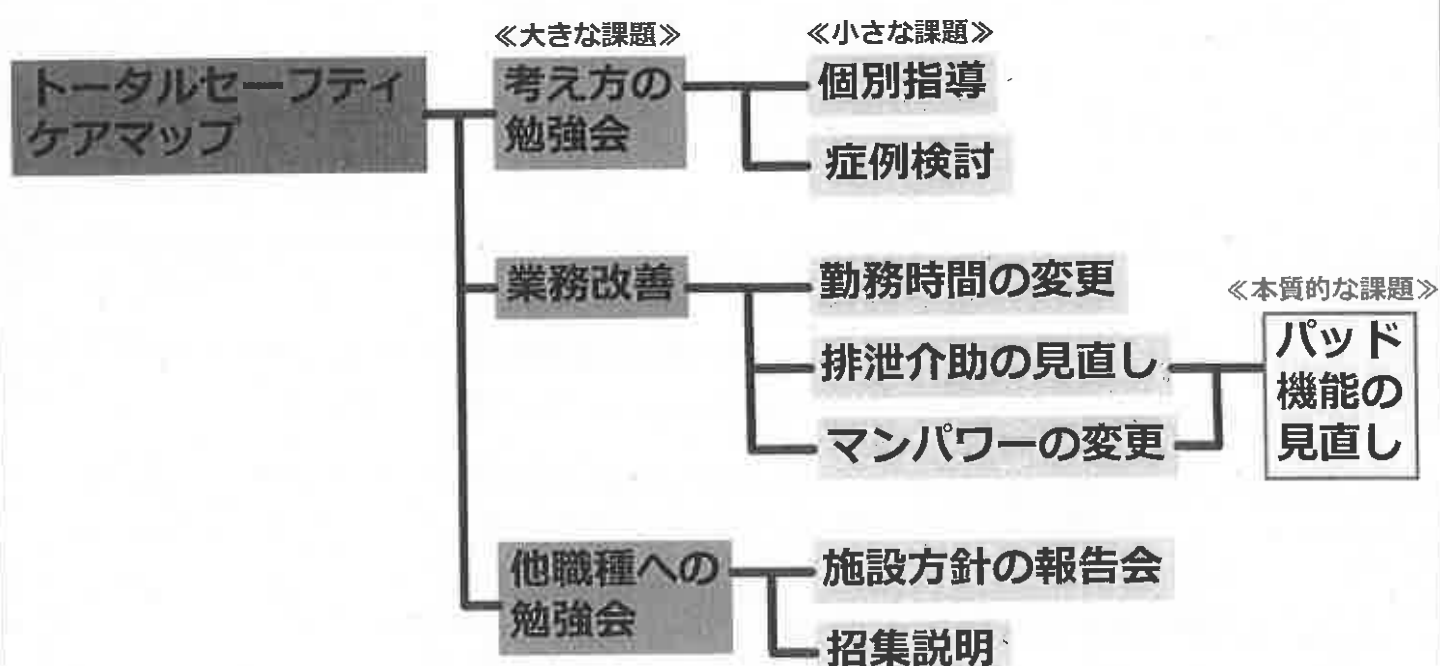
令和5年度の取り組み

- 各利用者様の**トータルセーフティケア**をより深く考え、**課題**を見つけ、**取り組む**
- 担当職員の**思考を明確化・見える化**
- 他職種全体**で**ノーリフト**に取り組む

➡ **【トータルセーフティケアマップ】独自に作成**

➡ **ケアプランに反映！**

令和5年度 トータルセーフティケアマップをケアプランへ



まとめ

ノーリフティングケア宣言!

私たちは、介護する側・される側双方が安全で安心な
 “抱え上げない” “引きずらない” ノーリフティングケアを行います!

ストップ!



腰痛

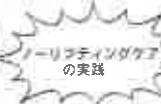
正しい姿勢で介護し、腰痛を防ぎます。
 利用者も介護者も両方に負担のないように、適切な方法で介護を行います。
 介護者は、正しい姿勢で介護し、腰痛を防ぎます。
 利用者も介護者も両方に負担のないように、適切な方法で介護を行います。

ストップ!



二次障がい

介護者の安全確保が、利用者への安全確保につながります。
 介護者の安全確保が、利用者への安全確保につながります。
 介護者の安全確保が、利用者への安全確保につながります。
 介護者の安全確保が、利用者への安全確保につながります。



介護者も利用者も安心・安全で
 ストレスフリーな介護職場の実現へ!

〒100-0001 東京都千代田区千代田

特別養護老人ホーム **みどりの郷**



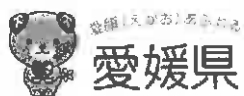
16:20~16:30

まとめ「今後の普及を図るために」

愛媛県介護実技普及指導員

守谷理佐氏

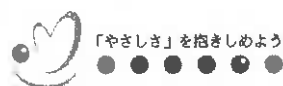
成川ゆかり氏



令和5年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

マネジメント研修
今後の普及を図るために

2023.6.16



愛媛県介護実技普及指導員
守谷理佐 成川ゆかり

これからの予定

- 事例報告について
- 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業
について
- 今後の普及を図るために

事例について

気をつけていただきたいこと

「どんな福祉用具・機器を導入したか」に目がいく

事業所・施設には違いがある

- | | |
|---------|-----------|
| ・利用者の状況 | 自分の施設の |
| ・職員の状況 | 課題は何か |
| ・環境面 | リスクの洗い出しを |
| ・経済面 等 | することが絶対条件 |



同じ福祉用具・機器を導入しても
同じ効果が得られるとは限らない

事例について

参考にしていただきたいのは

- どのような**目的・目標**を持って始めているか
- 施設・事業所の**課題**をどう捉えているか
(事業所全体で取組んでいるか、体制はできているか)
- どのような**取り組み**を行っているか
(どのような**計画**を立て、どう**実施**しているか)

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の目的

- 介護従事者の離職防止
- 介護人材の安定的確保



- 要介護者及び介護従事者双方の負担軽減
- ケアの質の向上



- 要介護者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用
- 身体機能・構造に即した介護技術の実践
- 介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境作り

◆介護者の負担軽減

- ・働きやすい環境づくり(労働衛生管理)
腰痛予防、勤務体制、服装・靴、段差、空調、5S、福祉用具など

◆利用者の負担軽減

- ・自立支援
- ・トータルセーフティケア
(24時間の姿勢管理)

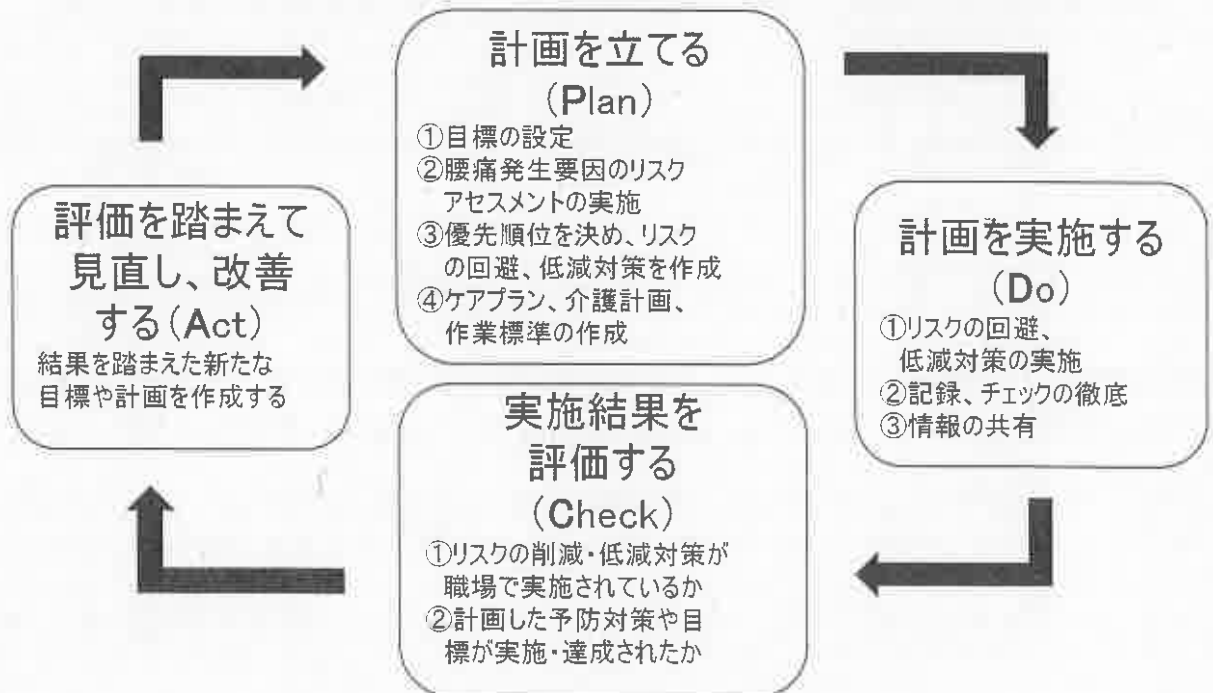


愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業では

利用者・介護者 双方の安心・安全

負担軽減

ノーリフティングケア普及啓発事業におけるPDCAサイクル

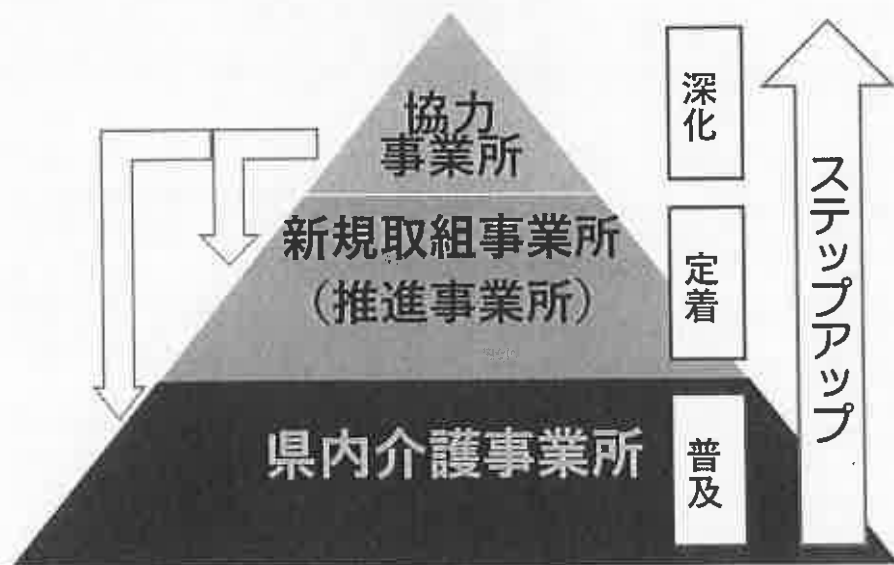


令和4年度からの愛媛県の特徴



令和4年度からは、
令和元年～3年度
ノーリフティングケア
に取り組んだ事業所が
協力事業所として
一緒に訪問し、
アドバイスをを行っている

協力事業所は指導的存在へ



令和4年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業マネジメント研修
愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課 二宮一恵氏資料より一部改編

ノーリフティングケア普及啓発事業での事業所の変化

■ 全体会・アドバイス研修・個別研修と居室等の巡回

- 利用者に対して意識の変化が見受けられる(ほとんどの事業所)
利用者の「負担軽減」は何か伝わる
- 自分たちが実際に研修で体験したことで理解が深まる
⇒ 双方のリスクと負担軽減の根拠と方法がわかる
- 自分たちのからだの使い方、ケアの見直し
⇒ 利用者を見る視点が変わってきている

モデル事業所が協力事業所となって、新しく始める推進事業所に関わる(アドバイス)ことにより、双方にとって良い効果となっている

今後の
普及を図るために

浸透できない理由(例)

- 動機が不明瞭
他の事業所が導入しているから、そろそろ…
- 目的が不明瞭
なぜ始めるのか不明瞭のまま→目的が職員に伝わらない
- アセスメントが不十分
対象者の状態に合った福祉用具や介助方法が選定できていないことで使わなくなる

目的に向かうために必要なこと

- 組織:「労働安全衛生管理体制」、「教育体制」の整備
施設・事業所として将来像を明確に提示する
担当職員が専念できる体制づくりも重要
- 職員:必要な要素
「知識・技術・倫理観」
コミュニケーション技術、アセスメント技術、介護技術など
「多職種連携」
専門職からの伝達・指導を受けて、介護職が行える
体制づくり

職場内で浸透・継続させるために必要なこと

- 1 職場の意識統一
- 2 職場環境の整備
 - ①体制を整える
 - ②物質的な環境
 - ・道具(福祉用具・機器)をそろえる
 - ・空間を整える
 - 練習場所を設ける
 - 居室内を整理整頓して、すぐに福祉用具が使えるように配慮する
- 3 練習を重ねる
 - ①誰でもいつでも練習できる環境を準備する
 - ②技術を評価する仕組みを作る

これからの介護

■テクノロジー

人が行うこと、機器・用具で構わないことを見極める(ここはアナログ)
介護ロボットや福祉用具・機器を駆使する

■テクニク

知識を持つ。知識に裏付けられた介護技術を磨く
介助場面の技術だけではなく、アセスメントや利用者を観察する目=
介護過程を継続して展開する

■非密着・非密接ケア

腰痛、褥瘡、拘縮の予防だけでなく、感染症対策としても必要

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

利用者が、「安心・安全な介護」を受けられること
職員が、「安心・安全な介護」を提供できること

トータルセーフティケアを全ての事業所で



ご清聴ありがとうございました

令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業 推進事業所募集要領

1 目的

要介護高齢者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用と身体の機能・構造に即した介護技術を実践し、介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境づくりを進めることによって、要介護者及び介護従事者双方の負担軽減とケアの質向上を図り、介護従事者の離職防止や介護人材の安定的確保に資することを目的とする。

2 実施主体

愛媛県（事務受託団体：社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会〔以下、「県社協」という〕）

3 応募対象・推進事業所

愛媛県内の「介護保険法に基づく介護サービス事業所」等を対象に公募し、推進事業所を12か所程度選出する。なお、推進事業所の選考は、推進会議を開催して行う。

4 応募方法

別添【申請①】応募申請書 及び【申請②】同意書を作成のうえ、**令和5年7月14日（金）までに**県社協に提出する。

5 事業内容

（1）推進事業所の募集

県社協は、愛媛県内の介護サービス事業所等に周知し、広く募集を行う。

事業実施を希望する事業所は、【申請①】応募申請書 及び【申請②】同意書を県社協に提出する。

（2）推進事業所の選考

県社協は、推進会議を開催し、応募の中から推進事業所の選考を行う。

※県社協は、応募事業所に対して選考結果を速やかに文書で通知する。

=====以下、指定を受けた推進事業所が、取組み・参加等を行う=====

（3）労働安全衛生管理ワークフローに基づいた取組み（8月）

指推進事業所は、別添1「労働安全衛生管理ワークフロー」にある作業を開始する。

（4）全体研修①（8月10日（木））

県社協は、推進事業所のリーダー等を集めて事業説明や今後の取組み等に関する研修を行う。この研修会の後、各事業所で導入前職員アンケートを実施するとともに導入計画等を作成し、それらに基づいて福祉用具・機器の導入を行う。

※福祉用具（福祉用具・機器）、介護ロボットの導入（購入又はレンタル）にかかる経費は、各事業所の負担となります。

※福祉用具（福祉用具・機器）、介護ロボットの導入にあたっては、講師が各事業所の状況に応じた助言を行います。

（5）アドバイス研修（9月）

県社協は、協力事業所（過去に本事業を修了した先駆的取組み事業所）等において、推進事業所のリーダー等を集めて、各事業所が作成した書類の精査を行うとともに、導入した（予定の）福祉用具・機器の使用等に関する研修を開催する。

推進事業所は、同研修での精査結果等を踏まえ、実施計画書を作成する。

(6) 個別研修① (10～11月)

県社協は推進事業所(12か所)において、職員を対象とした「ケアに対する共通認識の醸成と福祉用具の使い方等に関する研修」を開催する。

(7) 個別研修② (12～1月)

県社協は推進事業所(12か所)において、職員を対象とした「トータルセーフティケアに欠かせない姿勢の見方等に関する研修」を開催する。

(8) 個別研修③ (1～2月)

県社協は推進事業所(12か所)において、職員を対象とした「ポジショニング(姿勢の整え方)等に関する研修」を開催する。また、研修の中で、事業所でのケアの浸透状況等を確認・検証するとともに、課題整理を行う機会を設ける。

(9) 普及啓発セミナー (2月)

推進事業所のリーダー及び関係者が一堂に会し、本事業による成果や課題、今後の方策について意見交換を行う。

6 指導講師等

- (1) 愛媛県介護実技普及指導員(介護福祉士、理学療法士等)
- (2) 先駆的にノーリフティングケアに取り組んでいる事業所のリーダー等

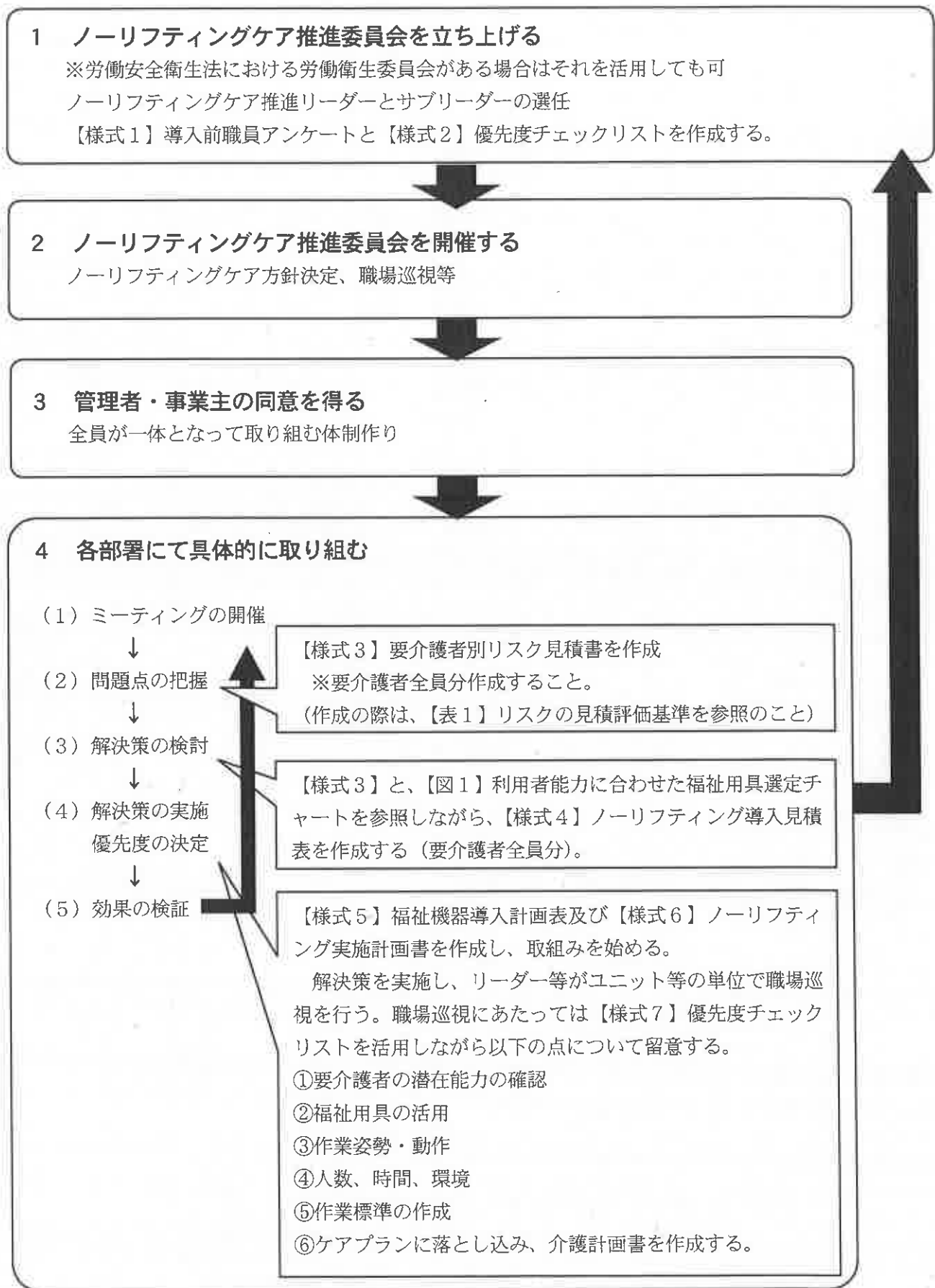
7 推進事業所の選考にかかる評価項目

- (1) 実施計画の妥当性
 - ① ノーリフティングケアの実施体制、マネジメント方法は妥当か。
 - ② 福祉用具・機器の導入予定内容は妥当か。
 - ③ 利用者及びその家族へのアセスメントは、適切に行われる計画となっているか。
- (2) 目標達成の可能性
 - ① 現在の課題を把握できているか。
 - ② 目標設定は具体的か。
 - ③ 目標と実施計画の親和性は高いか。
- (3) 将来性・モデル適性
 - ① モデル事業終了後も事業所全体で継続して取り組む体制・意欲はあるか。
 - ② PDCAサイクルによって業務の改善・効率化が図れるか。
 - ③ 将来的に、他の事業所の模範となりうるか。

8 応募先(本事業事務局)

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課(担当/菅野、森田、下岡)
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館 2階
TEL 089-921-5140 FAX 089-921-8939 E-mail chouju@ehime-shakyo.or.jp

介護現場における労働安全衛生管理ワークフロー



【申請①】 令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業
推進事業所指定 応募申請書

令和 年 月 日

愛媛県社会福祉協議会 会長 様

申請者

名 称

代表者職・氏名

㊟

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の推進事業所の指定を受けたいので、下記及び別添関係書類の内容で申請します。

記

1 応募理由

--

2 事業所情報・入所者（利用者）の状況

事業所名					
管理者氏名					
所在地	〒				
電話番号・FAX	TEL	FAX			
担当者職・氏名					
床数			労働衛生委員会の設置	有 ・ 無	
ユニット・フロア数	ユニット数		フロア数		
入所（利用）定員	入所（利用）定員		入所（利用）者数（ 月 日現在）		
入所（利用）者数	名		名		
入所（利用）者の介護度					
要介護5	名	要介護4	名	要介護3	名
要介護2	名	要介護1	名	/	
要支援2	名	要支援1	名		

3 職員の状況・職場環境等

介 護 職 員 数		名	
腰 痛	職員のうち腰痛保持者数	名	
	職 場 内 の腰痛発生要因と考えられる 事 項		
	腰 痛 対 策 取 組 み 状 況		
イ ン シ デ ン ト	インシデント発生件数 (いずれかに☑)	<input type="checkbox"/> カウントしている ⇒ カウントしている場合は、令和4年度の発生件数：____件 <input type="checkbox"/> カウントしていない	
	インシデント対策 取 組 み 状 況		
応 募	求人応募者数 ※介護・看護等に限る。	令和2年	人
		令和3年	人
		令和4年	人
離 職	介護職員の離職率	令和2年	%
		令和3年	%
		令和4年	%

4 ノーリフティングケアに係る福祉用具・機器の導入実績

(1) ベッドの所有状況等について

ベッド所有台数	台	ベッドの内訳	電動	台
		(高さ調節機能)	手動	台
		介助バー所有台数		台

(2) 車いすの所有状況等について

車いす所有台数	台	車いすの内訳 (種類)	スタンダード	台
			モジュール	台
			リクライニング	台
上記のうちアーム サポート跳ね上げ 機能のあるもの	台		ティルト	台
ティルト&リクライニング			台	
その他()			台	

(3) これまでの導入実績

機器の品名・種類等	数量	導入時期	利用状況 (使用頻度)
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない

(4) その他【ノーリフティングケア以外の機器の導入実績 (福祉用具・機器、介護ロボット等)】

機器の品名・種類等	数量	導入時期	利用状況 (使用頻度)
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない
		年 月	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ない

5 ノーリフティングケア実施にあたっての課題・目標等

<p>現在の課題</p>	
<p>目標</p>	
<p>実施体制・ マネジメント方法</p>	
<p>利用者・家族への アセスメント・ アプローチ等</p>	

【申請②】

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業 事業実施に関する同意書

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業を円滑に進めるために、以下のことを理解し、同意いただける場合は□にチェックを入れ、署名・捺印してください。

- 職場に腰痛のある職員が何人いるかを調査して把握することに同意します。*1
- ノーリフティングケアは介護職員の負担軽減のためだけに行うのではなく、利用者の二次障害の予防及び自立支援につながり、それによって介護者の負担はより軽減され、良いサイクルが生まれます。そのことを理解したうえで事業に取り組みます。
- 労働安全衛生マネジメントシステム（リスクマネジメントを行い、PDCAサイクルを実践）を理解して実践し、職場のノーリフティングケアを推進することに同意します。*2
- 厚生労働省が示す「職場における腰痛予防対策指針」*3を理解し活用することに同意します。
- 本事業終了後もノーリフティングケアの概念に基づく介護業務が継続できるよう努め、県内他事業所にも波及するよう発表や視察受入の機会があれば協力します。

*1 【様式1】導入前職員アンケート及び【様式7】導入後職員アンケートを実施していただきます。

*2 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」(http://anzeninfo.mhlw.go.jp/yougo/yougo02_1.html)にてご確認ください。

*3 厚生労働省「職場における腰痛予防対策指針」（平成25年6月18日基発0618第1号）の別紙「作業態様別の対策」にある「IV福祉医療現場における介護・看護作業」の項目を特にご確認ください。

本事業の申込にあたり、上記事項に同意します。

令和 年 月 日

申請者

名称

代表者職・氏名

印

令和元年～4年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業 推進事業所一覧

No.	実施年度	事業所種別	事業所名	地区
1	令和元年度	小規模多機能型居宅介護	トータルケア今井	東予
2		特定施設入居者生活介護	養護老人ホーム石燧園	東予
3		介護老人保健施設	にぎたつ苑	中予
4		認知症対応型共同生活介護	グループホームやわらぎ	中予
5		特別養護老人ホーム	松葉寮	南予
6		特別養護老人ホーム	つわぶき荘	南予
7	令和二年度	特別養護老人ホーム	みどりの郷	東予
8		特別養護老人ホーム	なごみ	東予
9		介護老人保健施設	アイリス	東予
10		特別養護老人ホーム	砥部オレンジ荘	中予
11		特別養護老人ホーム	ていれぎ荘	中予
12		介護老人保健施設	ふじの園	南予
13	令和三年度	特別養護老人ホーム	ル・ソレイユ	東予
14		介護老人保健施設	いしづち苑	東予
15		特別養護老人ホーム	樋谷荘	東予
16		通所介護	デイサービスセンターかおり	中予
17		地域密着型特別養護老人ホーム	開明の杜	南予
18		特別養護老人ホーム	あけはま荘	南予
19	令和四年度	特別養護老人ホーム	しあわせの家	東予
20		特別養護老人ホーム	シルバーハウス吹揚	東予
21		介護老人保健施設	ふなき久和園	東予
22		地域密着型特別養護老人ホーム	三崎つわぶき荘	南予
23		特別養護老人ホーム	皆楽園	南予

令和5年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業
マネジメント研修 出席者名簿

【会場参加】

※申込順

No.	所属等名	役職名	氏名	備考
1	特別養護老人ホーム みどりの郷	介護主任	神野 翔平	令和2年推進事業所
2	特別養護老人ホーム ル・ソレイユ	事務長	渡部 皓幸	令和3年推進事業所
3	特別養護老人ホーム ル・ソレイユ	ユニットリーダー	井月 一江	令和3年推進事業所
4	グループホームふくい	介護主任	高須賀 恭平	
5	特別養護老人ホーム つわぶき荘	介護主任	菊池 三生	令和元年推進事業所
6	特別養護老人ホーム つわぶき荘	介護職員	小原 皓千	令和元年推進事業所
7	特別養護老人ホーム 法正園	主任生活相談員	金光 達也	
8	社会福祉法人 寿山会	介護主任	青陽 大祐	
9	済生会小田老人保健施設 ふじの園	主任介護福祉士	末廣 和也	令和2年推進事業所
10	介護老人保健施設 ハピネス椿		堀内 晶子	
11	聖カタリナ学園高等学校	教諭	峰岡 季美	
12	社会福祉法人昌樹会	施設長	畑中 久隆	
13	介護老人保健施設 ふなき久和園	施設長	井内 久美子	令和4年推進事業所
14	介護老人保健施設 ふなき久和園	介護技術主任	佐伯 成敏	令和4年推進事業所
15	(株)ビーイング		一色 紫乃	
16	ごしき在宅ケアセンター		門田 容子	
17	グループホーム アンダンテ		高市 明日香	
18	グループホーム アンダンテ		柴田 幸子	
19	愛媛県福祉サービス協会	会長	鳥生 明	
20	小規模多機能ホームゆうゆう		片岡 雄貴	
21	グループホーム あゆみ	介護士	尾崎 史典	
22	グループホーム あゆみ		岡田 滉大	
23	介護老人保健施設 合歓の木		渡邊 美和	
24	医療法人順風会 天山病院	主任	玉置 佳津子	
25	医療法人順風会 天山病院	主任	福田 志乃	
26	ショートステイセンター超	管理者	佐々木 良	
27	ショートステイセンター超		大西 公美	
28	有料老人ホーム ながきの杜		植松 大樹	
29	(株)クロス・サービス ケアサポートまつやま	福祉第一事業部部长	丸田 裕	
30	老人保健施設 たかのこ館	事務長	宗岡 直美	

【オンライン参加】

※申込順

No.	事業所名等	備考
1	特別養護老人ホーム あけはま荘	令和3年推進事業所
2	特別養護老人ホーム 愛寿荘	
3	社会福祉法人 昌樹会	
4	特別養護老人ホーム 菊仙荘	
5	養護老人ホーム 和楽園	
6	特別養護老人ホーム あいじゅ祝谷	
7	株式会社よんでんライフケア よんでんライフケア道後	
8	特別養護老人ホーム ふたばの森	
9	特別養護老人ホーム 光来園	
10	老人保健施設 伊予ヶ丘	
11	老人保健施設 ミネルワ	
12	養護老人ホーム 奥伊予荘	
13	特別養護老人ホーム サンランド	
14	有料高齢者住宅「人と…」	
15	特別養護老人ホーム 一本松荘	
16	介護老人保健施設 さくら苑	
17	グループホームラポール	
18	特別養護老人ホーム かわかみ荘	
19	大洲市養護老人ホームさくら苑	
20	特別養護老人ホーム 伊予あいじゅ	
21	小規模特別養護老人ホーム 宝閑荘	
22	特別養護老人ホーム 古城園	
23	伊予市社会福祉協議会 中山事務所	
24	常盤タクシー株式会社	
25	おあしす今治	
26	西条市社会福祉協議会 ヘルパーセンター西条	
27	特別養護老人ホーム 瑞鶴荘	
28	グループホーム媛の華	
29	地域密着型特別養護老人ホーム 開明の社	令和3年推進事業所
30	特別養護老人ホーム ふたば荘	
31	特別養護老人ホーム 皆楽園	令和4年推進事業所
32	株式会社 ことぶき	
33	支援えひめ	
34	特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘	令和2年推進事業所
35	上島町特別養護老人ホーム海光園	
36	社会福祉法人 亀天会	

【オンライン参加】

※申込順

No.		備 考
37	ウェルケア重信	
38	地域密着型介護老人福祉施設 三島の杜	
39	特別養護老人ホーム 瀬戸あいじゅ	
40	グループホーム竹の園	
41	グループホーム つかさ	
42	愛南町養護老人ホーム南楽荘	
43	地域密着型介護老人福祉施設 山田井の郷	
44	西条市社会福祉協議会 ヘルパーセンター小松	
45	特別養護老人ホーム 青石寮	
46	社会福祉法人恩賜財団済生会 松山特別養護老人ホーム	
47	デイサービスセンターももたろう	
48	済生会西条老人保健施設いしづち苑	令和3年推進事業所
49	社会福祉法人愛美会 特別養護老人ホーム萬翠荘	
50	特別養護老人ホーム樋谷荘	令和3年推進事業所
51	リハプライド武田脳神経外科	
52	特別養護老人ホーム 阿良園	
53	高齢者総合福祉施設 森の園	
54	特別養護老人ホーム シルバーハウス吹揚	令和4年推進事業所
55	グループホーム・カミングケアステーション	
56	ヘルパーステーションLei	
57	養護老人ホーム 江南荘	
58	有限会社ASRE	
59	医療法人青峰会 アクティブライフ松柏	
60	特別養護老人ホーム 愛寿荘	
61	特別養護老人ホーム しあわせの家	令和4年推進事業所
62	西条市社会福祉協議会 ヘルパーセンター	
63	地域密着型特別養護老人ホーム三崎つわぶき荘	令和4年推進事業所
64	ダスキンヘルスレント	
65	居宅介護支援事業所 ひめやま	
66	社会福祉法人 愛美会 ケアハウス虹の里	
67	子ども療育センター	
68	特別養護老人ホーム みどりの郷	令和2年推進事業所
69	ミネルワステイ	